

令和2年度「全学FDの日」実施

【期 日】 令和2年11月25日（水） 9:00～11:50

【場 所】 Zoomによる生配信（ならびに後日、オンデマンドによる配信）

【テーマ】 教育のデジタル化・オンライン化について ——コロナ対応から将来への展開——

新型コロナウイルス（COVID-19）への対策が、大学教育のありかたにも大きな影響をもたらしている。遠隔授業主体による大学という場での学びの交流を大幅に失っていることは、学生や教員にとって大きな損失であることは言うまでもない。

しかし、一方で遠隔授業を進めるにあたって、C-learning や Moodle による WEB 上での学習支援、Teams や Zoom による移動時間を省略できる対面方法などはこれからの大学内、大学間、国際的な交流や教育に向けて大きな役割を果たすとも考えられ、今回のことを契機としてさらなる充実を目指すことで、新たな大学教育の展開が期待される。

このためには、ユビキタスな通信環境の整備やデバイスの確保などの環境面・ハード面が必要なことは言うに及ばず、学生においては環境整備に加えて自律的学習姿勢の涵養も不可欠である（いつでも学べる環境は、いつかやれるからと先延ばし行動を促進しかねない）。また、教育を展開する教職員の物理的・時間的・精神的負担についても考慮しなければならない。

したがって本年度は、コロナ禍での大学教育のありようが将来への意義ある飛躍につながる道筋を学内の皆様に検討し、希望の持てる今後の教育改善を模索したい。

【催事 1; 全学シンポジウム】

- 9:00～9:10 学長挨拶（10分）
9:10～9:15 趣旨説明・講師紹介（5分）
9:15～10:30 外部識者講演 <質問時間含む>（60+15分）
大阪大学全学教育推進機構 教授
村上 正行 先生

（休憩 10分）

- 10:40～11:40 メディア講義実践例の報告（60分）
国際学部 重田 康博 教授
共同教育学部 久保田愛子 助教
共同教育学部 鈴木 拓 助教
農学部 神山 拓也 助教

- 11:40～11:50 質疑討論・コメント（10分）

【催事 2; ベストレクチャー賞発表ならびに受賞者報告】

本年度は、後日の呈示資料または動画等での開催

【催事 3; 学部等の取組】

本年度は、各学部等で原則12月末までに独自に設定して個別FDを開催
（各学部の取組計画は別紙のとおり）

令和2年度「全学FDの日」個別FD活動企画

○地域デザイン科学部

日 時 令和2年12月22日(火) 14:30～

場 所 Microsoft Teams によるオンライン開催

テーマ メディア授業の効果を高めるためのヒント

内 容 2020年度前期の授業の経験を振り返っての教員アンケートや学生の声を基に、メディア授業の欠点を補って長所を活かすためのアイデアを紹介する。その上での意見交換を通じて、対面授業と組み合わせた活用方法も検討する。

○国際学部

日 時 第1回：令和2年11月24日(火) 13:20～14:20

第2回：令和2年12月22日(火) 13:20～14:20

場 所 第1回、第2回ともに Zoom 会議室 (後日オンデマンド配信)

テーマ アクティブ・ラーニング導入授業のオンラインでの運営における課題と展望

内 容 今後の教育におけるデジタル化・オンライン化について検討する全学FDのテーマと関連し、国際学部では改組後のアクティブ・ラーニング導入型の新規必修科目である「新入生セミナー」、「多文化共生概論」、「グローバル実践力基礎Ⅰ・Ⅱ」、「グローバル研究演習Ⅰ・Ⅱ」および「グローバル研究演習Ⅰ・Ⅱ」の各科目について、オンラインでの実施となった今年度授業の運営について、成果や課題点について担当教員から具体的に紹介いただく。オンラインでのアクティブ・ラーニング導入型授業の運営における課題について学部教員間で意見交換をおこない、今後の授業運営改善のための情報共有を図る。

○共同教育学部

日 時 令和2年10月27日(火) 15:30～17:00

場 所 8号館 8E11 教室 または Teams

テーマ 新時代の大学教員養成教育実践の挑戦と課題
—群馬大学との斉一科目・遠隔授業アンケート結果と附属学校教員と共に創る
AL 指導力育成の大学教育実践事例研究—

内 容 本年度から全国初の共同教育学部が発足した。先行事例とは比較にならない規模の遠隔授業設備を整え、教員研修も行い、新しいスタートを迎えたときにいきなりコロナ禍に見舞われ、オンデマンドやオンタイムの授業方法に切り替えねばならなかった。さらに、教員養成系教育学部の場合、「主体的で対話的で深い学び」の指導力をもつ

た教員を輩出するという目標もあり、大学教員は学生自身がアクティブ・ラーニングを実践するだけでなく、それを指導する力量もつける必要もある。今年度は、二重三重に困難な課題に取り組まなければならなくなった。

前期が終了した段階ではあるが、教員養成カリキュラム専門委員会委員長・佐々木和也教授が中心となり、宇都宮、群馬の両大学において、斉一科目・遠隔授業についてアンケート調査を実施した。そこで、佐々木教授からアンケート結果を紹介していただき、現状を把握するとともに、今後について教授会構成員で話し合いたい。

また、教育学部特有の問題であり、数年前から検討してきた、「主体的で対話的で深い学び」の指導力をもつ教員の養成に関しては、AL度「80」の教科指導法に取り組む、川上貴講師に近年の取り組みと今年度の状況についてお話ししていただき、課題克服の契機としたい。川上講師の授業では附属学校教員も参加しており、附属学校教員のかかわり、役割についても議論できれば、と考えている。当日は、二人の教員から説明を受けた後、質疑応答により内容理解を深めていきたい。

○工学部

日 時 令和2年12月8日（火）13：30～

場 所 Zoom（Web開催）

テーマ メディア環境下でのALとその課題（新入生セミナーを例に）

内 容 基盤工学科の新入生セミナーは、工学部改組を好機として、アクティブラーニング（AL）を大きな柱とし、異分野の教員が協働するスタイルに刷新された。学生アンケートにおいても、まずまずの高評価を得て、順調な滑り出しに見えたが、コロナ禍の襲来で状況が一変した。メディア授業の環境下で、果たしてAL型の授業は可能だったのか、基盤工学科長として、陣頭指揮にあたった大庭亨先生に、コロナ禍におけるAL型授業の実情と課題についてお話をいただく。これを踏まえた意見交換により、メディア環境下で可能なAL教育とは何か、将来に向けた指針を模索する。

○農学部

日 時 令和2年11月24日（火）教授会終了後

場 所 Zoomによるオンライン配信ならびに後日オンデマンドにも対応

テーマ GPS-Academicによる学習成果の評価結果をもとに、教育のデジタル化を考える

内 容 株式会社ベネッセiキャリア教育事業本部 高橋広平氏をお招きし、農学部で昨年度試行した農学部1年生及び4年生に対するGPS-Academicの受審結果に基づき、農学部学生が4年間で修得した力に関する分析結果を紹介してもらいます。

GPS-Academicは大学や社会での学びに対して、これからの時代を生きるために必要となる問題解決力を、思考力・姿勢態度・経験・意識調査の4領域で数値化し、受験した学生自身が自らの力に気付くとともに、その結果を教育プログラムのカリキュラム設計にフィードバックするなど多様な利用が可能です。この分析結果を喫緊の課題となっている教育のデジタル化にどのように反映させることができるかについて、学部構成員の意見を共有する機会にします。

目 次

第17回「宇都宮大学ベストレクチャー賞」受賞者名簿	5
第17回「宇都宮大学ベストレクチャー賞」選考要項	6
全学シンポジウム メディア講義実践例の報告資料	7
ベストレクチャー受賞者による実践報告資料	59

今回はコロナ禍での開催ということもあり、外部識者の大阪大学全学教育推進機構 教授・村上 正行 先生からは Zoom 配信によりご講演頂きました。頂いた資料は学内利用のみの許可を頂いているため、本資料には掲載しておりません。

また、ベストレクチャー賞受賞者の実践報告資料につきましても、ご本人から掲載許可を得られたもののみを掲載しています。

(※本資料については、無断の引用や転載等はなさらず、個人の利用に留めてくださいますようお願いいたします。)

第17回「宇都宮大学ベストレクチャー賞」受賞者名簿

○学部推薦

学部等	授業科目名	担当教員名	科目コード	受講者数	回収枚数	平均点	備考
地域デザイン科学部	地域食育論	大森 玲子	R213002	63	10	4.90	発表者
国際学部	アジア太平洋文化社会研究Ⅲ(中国文化論演習)	松金 公正	K170703	10	7	5.00	発表者
共同教育学部	中等保健体育科教育法(体育1)	石塚 諭	S516009	24	15	5.00	発表者
共同教育学部	中等国語科教育法Ⅲ	森田 香緒里	S207006	21	12	4.92	
共同教育学部	体育	加藤謙一(代表), 石塚 諭, 久保元芳, 黒後 洋, 小宮秀明, 松浦祐希	S101840	79	32	4.53	
工学部	応用幾何工学	谷島 尚宏	T160096	83	58	4.67	発表者
工学部	データベースシステム	藤井 雅弘	T660110	89	64	4.42	
工学部	線形代数学	小池 正史	T710009	96	67	4.37	
農学部	木材化学工学	金野 尚武	A000580	32	23	4.87	発表者
農学部	食品加工論	橋本 啓	A000540	35	16	4.44	
基盤教育	新入生セミナー	栗原 俊輔	G131401	15	15	4.40	
基盤教育	新入生セミナー	二瓶 賢一	G162001	33	26	4.23	
基盤教育	国際化と人権	藤井 広重	G401718	18	13	4.54	発表者
基盤教育	フランス語応用Ⅱ	槇野 佳奈子	G900230	30	21	4.45	

「宇都宮大学ベストレクチャー賞」選考要項

令和元年 6 月 4 日 教務委員会

本学では、基本的な教育理念として「広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践し、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献する。」を掲げている。

この教育目標を達成するための一環として、優れた授業を行っている教員にベストレクチャー賞を授与し、併せて、教員相互の授業改善の意識向上に役立てることを意図している。

なお、ベストレクチャー賞は、優れた授業への取り組みであることに鑑み、本学における志願者確保等の観点から、その取組内容を広報活動においても活用することとする。

以下に「宇都宮大学ベストレクチャー賞」の選考について必要事項を定める。

1. 本学の専任教員が担当する学士課程の全ての授業科目（以下「科目」という。）を選考対象とし、選考された科目の担当教員に対してベストレクチャー賞を授ける。
 - (1) 当該科目を単一のクラス^{※1}で開講し複数の教員で担当している場合、その担当教員全員に対して授賞する。
 - (2) 同じ科目で担当教員が 3 回受賞した場合は、「宇都宮大学ベストレクチャー殿堂」とし、翌年度以降はその教員に対して当該科目における再度の授賞はしない。
 - (3) 科目を単一のクラスで開講し複数の教員が担当している場合は、同一教員が 3 回受賞したときに殿堂入りとし、翌年度以降はその教員に対して当該科目における再度の授賞はしない。
 - (4) 科目を複数のクラスで開講している場合は、全クラスをまとめて選考しその担当教員全員に対して又は特定のクラスのみを選考しそのクラスの担当教員全員に対して授賞する。
 - (5) 科目を複数のクラスで開講していて全クラスが受賞した場合は、同一教員が 3 回受賞したときに殿堂入りとし、翌年度以降はその教員に対して当該科目における再度の授賞はしない。
 - (6) 科目を複数のクラスで開講していて一部のクラスが受賞した場合は、同一教員が 3 回受賞したときに殿堂入りとし、翌年度以降はその教員に対して当該科目における再度の授賞はしない。
2. ベストレクチャー賞の授賞科目と授賞者は、教務委員会において決定する。
3. ベストレクチャー賞受賞者は、「全学 FD の日」に発表し、表彰状及び副賞を授与する。
4. ベストレクチャー賞受賞者の取り組み内容については、以下のようにして、他の教員の授業改善の意識向上に役立て、さらには広報活動に活用する。
 - (1) 受賞者は授業に対する心構えや取り組み方などをまとめた資料「授業概要」を作成する。「授業概要」は学内職員 Web サイトに公開する。
 - (2) 受賞者は、求められた場合に「全学 FD の日」、学部別の FD 活動、その他の学内の FD 行事等にて、自身の取り組みについて発表する。
 - (3) 受賞者は、オープンキャンパスの日などにおいて模擬授業を実施するよう努める。なお授業形態によって模擬授業の実施が困難な場合には、この限りではない。
 - (4) 受賞者の授業科目の参観を学内で広く推奨する。
5. その他選考に必要な事項は、教務委員会が別に定める。

以上

※1 ここで「クラス」とは、時間割コードが割り当てられた授業のことを指すこととする。

全学シンポジウム

メディア講義実践例の報告

国際学部 重田 康博 教授

共同教育学部 久保田愛子 助教

共同教育学部 鈴木 拓 助教

農学部 神山 拓也 助教

2020年11月25日全学FDの日
「メディア講義実践例の報告」

基盤教育科目「SDGs入門」について

重田康博（国際学部）
SDGsワーキング・グループ

1 「SDGs入門」は「とちぎ仕事学」の継承科目 —なぜSDGsを考えるのか？

- ▶ 本授業では、SDGsの基礎的知識を吸収すると共に、地域や本学にあっても先進的な取り組みや先行事例があり、SDGsの17の目標を様々な視点から関連付けて考えることが出来る「幅広いものの見方・考え方」を養うことを目指す。
- ▶ 栃木の地域社会から、世界に視点を広げる。
- ▶ 世界には多くの地球規模の問題が存在していることをSDGsを通して考える。
- ▶ 全学のSDGsワーキング・グループの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>2 飢餓をゼロに</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> 	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p> 	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	<p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>2030年に向けて 世界が合意した 「持続可能な開発目標」です</p>

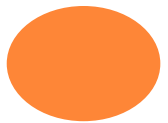
2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標（その下に、169のターゲット、232の指標が決められている）。特徴は、以下の5つ。



- 普遍性** 先進国を含め、全ての国が行動
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」
- 参画型** 全てのステークホルダーが役割を
- 統合性** 社会・経済・環境に統合的に取り組む
- 透明性** 定期的にフォローアップ

前身：ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs)

- 2001年に国連で専門家間の議論を経て策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したもの。
- 発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。
 (①貧困・飢餓, ②初等教育, ③女性, ④乳幼児, ⑤妊産婦, ⑥疾病, ⑦環境, ⑧連帯)
 ✓ MDGsは一定の成果を達成。一方で、未達成の課題も残された。
 ○ 極度の貧困半減(目標①)やHIV・マラリア対策(同⑥)等を達成。
 × 乳幼児や妊産婦の死亡率削減(同④, ⑤)は未達成。サブサハラアフリカ等で達成に遅れ



授業の到達目標：

- ▶ 持続可能な地域社会や国際社会の確立に向けた普遍的で世界的な目標であるSDGsを理解し、
- ▶ さらに地域におけるSDGsの取り組み状況や分野を超えて各学部の研究内容とSDGsとの関係を把握して、
- ▶ 今後の学びや活動の基礎になるようにSDGsの基礎力の醸成を目標とする。

授業の流れ

- ▶ 授業の流れ：第1回～第8回すべての授業以下の流れで授業を行う。
- ▶ ①オンデマンド授業（40分） ②グループディスカッション（30分） ③課題

	C-learning		Zoom	C-learning
	オンデマンド学習	集合時間	討論時間（30分）	課題の提出
1コマ	オンデマンド学習	09:10	09:20～09:50	水曜23時まで(厳守)
2コマ		10:50	11:00～11:30	
4コマ		14:50	15:00～15:30	
5コマ		16:30	16:40～17:10	

「SDGs 入門」の授業方法ー反転授業

- ▶ ①PDF+音声（40分）あるいはオプションとして動画
 - ・事前に教材としてC-learning上にアップしておく。
- ▶ ②ディスカッション（30分）Zoomを使う。
 - ・事前に「論点」と「時間（何時何分に開始）」を学生に通知しておく。
 - ・「論点」をブレイクアウトセッションのグループで共有、議論してください。
- ▶ ③ふりかえりレポート
 - ・C-learningのレポート機能を用い、「ふりかえりレポート」を100字程度かつテキスト（平打ち）で学生1人1人に提出してもらおう。

授業計画：文理融合による全学的な取り組みー各学部から参加

- ▶ ○授業計画：
- ▶ 第1回：イントロダクション：
- ▶ 第2回：宇都宮市
- ▶ 第3回：地域デザイン科学部：
- ▶ 第4回：国際学部
- ▶ 第5回：教育学部：
- ▶ 第6回：工学部
- ▶ 第7回：農学部
- ▶ 第8回：総括：授業振り返り

キーワード：

- ▶ 国連、SDGs、持続可能性、地域、グローバル、研究活動、地域活動、未来の地球

まとめ：授業の特徴

- ▶ ①反転授業であることーオンデマンド、オンラインでグループ・ディスカッションを行う
- ▶ ②SDGsを文理融合で学ぶこと
- ▶ ③全学部の教員が交代で担当すること
- ▶ ④全学部の学生が参加すること

○ (参考) 外務省HP SDGs 資料 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html> (2020年11月2日閲覧)

C-learningにおける 課題提示の実践紹介

共同教育学部・助教
久保田 愛子

ご紹介する授業の概要

◆生徒指導・進路指導（キャリア教育）について扱う授業

- **教員免許**を取得する学生にとって**必修**の入門授業
- 主に2・3年生が受講

◆2020年度前期の基本的な授業形態

C-learningでの**資料提示のみ**

→平常点も最終レポートも**課題への取り組み状況＋質のみ**で評価

（出欠状況や授業中寝ているか、グループワークへの積極性…等は加味しない）

試行錯誤で課題提示の仕方を工夫

課題提示の工夫

評価基準

を明示する

将来と今

を結び付ける

他者から
学(まね)ぶ

課題提示の工夫

評価基準

を明示する

将来と今

を結び付ける

他者から
学(まね)ぶ

評価基準

を明示する

毎回の授業でとるリアクションペーパー

- 対面授業の場合、「グループワークが楽しかった」「今日は生徒指導の定義について学ぶことができた」といった一言で終わる人が（少ないながら）見られる

→資料提示のみの授業だと、きちんと学んでいるか教員の確認ができないため、リアクションペーパーで何を学んだか具体的に書いてもらわないと困る

- 逆に、秀を狙いたい学生からは、「どうすれば秀をとれるか」という問い合わせも…

→意欲的な学生を弁別する工夫も必要と考えた

課題で①授業で満たされないと困る**最低条件**と

②**意欲的に学びたい人用**

両方の評価基準を明示することに

通常のリアクションペーパー課題

(1) **【300-1000文字程度】** 第13回の内容に関して、解説資料を基に**自分が学んだこと**を記述してください。

自分でも他の文献（資料の引用文献含）にあたり、考えを深められた場合には、更に加点し高く評価したいと思います。

ただし、**引用文献名**を記してください（引用文献は字数制限外です）。

(2) もし質問・聞きたいことがあれば、書いてください。（なければ記載の必要はありません）

最初は授業の次の日を締切としていたが、学生の要望により最終的には締切まで1-2週間取り組み期間をとるように

文字数を決め、授業の具体的な内容に触れなければ答えられないように条件をつける

意欲的に学習したい人には授業外学習を促進

学習の質判別のため
※卒論執筆を見据えた指導・意識付けにも？

質問があった場合、全ての質問に答えるように

課題提示の工夫

評価基準

を明示する

将来と今

を結び付ける

他者から
学(まね)ぶ

将来と今

を結び付ける

- 本授業は教員になるための資格を得るための必修授業
 - いじめや不登校指導，キャリア教育など教員になった後，避けて通れない内容を扱う
 - 教員採用試験でも面接や論作文で関連テーマを問われることが多く，就職という意味でも重要

but資料提示のみの授業だとモチベーションが低くなる学生が多くなるのでは・・・と危惧

→**課題に取り組むことが将来にもつながる**
(可能性がある) ことを感じてもらいたい

教員になる上で本授業の課題への取り組みが
役立ちそうと思わせる工夫を入れることに

教員になった場面を想定したセリフ課題

学年集会で**キャリア・パスポートのガイダンス**を行うことになりました。あなたは、その学年の担任の1人です。そして、あなたに、**キャリア教育で狙う力（基礎的・汎用的能力）**について**3-5分程度で説明し、子ども達の意欲を高める**ようお願いがありました。

(1) どの校種・学年を想定したものか記してください。学校の実態についても自分なりの設定があれば、記していただいて構いません。

(2) **【500-1500文字程度】**自分が**ガイダンスで子どもに向けて何を話すか、セリフを書いてください**。ただし、セリフなので想定した**発達段階の子どもにわかりやすく、響く言葉・内容になるよう**注意してください。

(3) もし質問・聞きたいことがあれば、書いてください。(なければ書く必要はありません)

教員になった後、出くわすかもしれない場面を想起させる

課題を解くため、授業の解説資料を再度見直す必要があるよう工夫

この課題でしっかりとセリフを考えた人は、教員になったときに、この課題で考えたことを活かすことができる(かもしれない…)

教員採用試験の過去問の改題

最終レポート 選択課題A

いじめは深刻な教育現場の課題として、社会からも強くその解決が求められているところです。そのためには、「児童生徒自らがいじめを許さない集団」作りに取り組む必要があります。この目標を達成するため、あなたは教科学習と学級指導の場面で、どのような指導を展開したいと考えるか、**国の動向・実態や既に行われている実践等を踏まえ**具体的に論じてください。（**2019年度横浜市・小中学校の小論文問題より改題**）

- 必ず「平成30年度 児童生徒の問題行動不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」を引用し、**いじめの現状に関する統計を踏まえた解答**とすること。

最終レポートが教員採用試験の改題であることを明示することでレポートに取り組むことが教員採用試験にもつながることを演出

ただし、授業内容を深めるため、条件を追加し**大幅に改題**してはいる。たとえば文字数(2000-5000文字)
・参照する引用文献の一部指定(**グラフの読み取りの促進**)

課題提示の工夫

評価基準

を明示する

将来と今

を結び付ける

他者から
学(まね)ぶ

他者から 学(まね)ぶ

- 対面授業を行っていた頃、本授業ではグループワークを多く取り入れ、自分とは異なる視点を学ぶことを重視していた
- しかし、C-learningで資料提示のみの授業だと、他の人とグループワークを行うことが難しそう・・・

→C-learningの場合、「レポート」の「共有」機能があるため、他の人のレポートを閲覧することができることを発見

→他の人の意見を知る&レポートの書き方を学ぶ上で有用かもしれない

他の人のレポートを見る機会を設けることで
自分とは異なる意見、レポートの書き方を
学んでもらうことに

最終レポート提出後の最終授業での課題

(1) 【500-1000文字程度】 **他の人の進路指導の最終レポート**を**少なくとも3本以上**読み、**進路指導の考え方や実践・教師という職業・わかりやすいレポートの書き方**等について、**自分が新たに学んだことor/and考えたこと**をまとめてください。

他の人が引用した文献に自分でもあたり、更にご自身の考えを深められた場合、**加点**します（引用文献名は制限文字数の範囲外です）。

(2) もし質問・聞きたいことがあれば、書いてください。（なければ書く必要はありません）

他の人の最終レポートを読んで学んだことを書くこと自体を課題に

普段他の人のレポートを見ることができないため、評判が良かった
※しかし記名で共有したため、記名公開されることへの不快感を示した学生もいた

この条件をつけることで、**引用文献**を記すことの重要性にも気づいてほしかった

課題提示の工夫

評価基準

を明示する

将来と今

を結び付ける

他者から
学(まね)ぶ

課題に関する学生からの声

毎週のレポートが、苦しいようなやりがいがあるような**ちょうどいい量**だなと思っています。

授業に対してのレポートが300字～1000字と幅がきかせてあってとても取り組みやすい。

他の授業で**参考文献の正しい書き方**を指導されたことがなかったので、良かったです。
(参考文献を書かないと盗用になってしまいますとは言われることはありますが...)

教員採用試験と関連のある課題は、将来教員を目指す志のある者にとって、とても**取り組みがいのある課題**だと感じております。

・中間アンケート
・「連絡・相談」経由で送られてきた感想メッセージから

他の人のレポートを見られるようにするのは続けて欲しい。**自分以外のレポートを読むことで、自分のレポートの改善・改良につながる**ため。

名前付きレポート公開は引き続きしない方向でお願いしたいです。

課題の提出期限も余裕をもたせていたただいたので他の課題も順調に進んでいる次第であります。非常にありがたいです。

ご清聴ありがとうございました



C-learning を用いた オンライン試験

共同教育学部 助教 鈴木 拓

概要

今年度前期の「代数学基礎」と「代数学 I」の期末試験において実施した「C-learning を用いたオンライン試験」についての報告（方法と工夫）

※ 両科目とも、教育学部数学分野の専門科目で、「代数学」に関する授業

C-learning の「小テスト」機能

残り時間

🕒 9:36

- 問題の回答形式
 - 択一形式
 - テキスト入力形式
- 各種設定
 - 問題の出題順
 - フィードバック
 - 制限時間

Top > 代数学基礎 > 小テスト > デモンストレーション

📖 代数学基礎 (前期)

📄 デモンストレーション

問題.1

以下の空欄に該当する解答を一つ選択してください。

※ 「問題1」と表示されますが、「問題2, 3, ...」はありません。「残り時間」が0になる前に解答を提出してください。

提出方法: 解答を選択後、「提出確認」を押し、「提出する」を押すことで提出できます。

$1 + 2 \times 3$ を計算すると である。

3

4

5

6

7

8

9

10

該当する解答がない

提出確認

オンライン試験の難点

- 受験者の環境の違いによる不公平
 - 使用するデバイス（パソコン？スマホ？）の違い
 - 通信環境の違い
- 試験中断時の対応
 - どう再開する？
 - 答案が全て消えてしまったらどうする？
- 受験者の不正防止
 - 講義資料やノートを見ながら受験
 - 受験者同士の教え合い

工夫 1 問題は全て択一形式

ねらい

- デバイス・通信環境による不公平の軽減

※ 問題文は画像ファイルとして添付

問題.1

以下の空欄に該当する解答を一つ選択してください。

※ 「問題1」と表示されますが、「問題2, 3, ...」はありません。「残り時間」が0になる前に解答を提出してください。

空間内の平行四辺形 $ABCD$ において、点 A, B, D の座標が

それぞれ $\begin{bmatrix} 4 \\ 2 \\ 3 \end{bmatrix}$, $\begin{bmatrix} 7 \\ 2 \\ 4 \end{bmatrix}$, $\begin{bmatrix} 4 \\ 6 \\ 5 \end{bmatrix}$ であるとき、この平行四辺形の面積

は である。

6

7

9

12

14

18

24

48

該当する解答がない

工夫 2 各問題を別々の小テストとして作成

ねらい

- 問題ごとにややシビアな時間を設定
→ 受験中の不正を防止
- 問題ごとに解答を提出
→ トラブル時の対応がしやすい

※ 試験のデモンストレーションを用意

Top > 代数学基礎 > 小テスト

代数学基礎 (前期) 27名 [S306004]

小テスト 小テストの新規作成 提出一覧

1ページあたりの表示件数: 100

9件中 1件から 9件までを表示

タイトル	提出状況	合格数	平均点	合格点	満点	制限時間	対象学生
デモンストレーション	27名	27	10点	0点	10点	10分	全員 ↓ 27名
問題 A	27名	27	9点	0点	10点	10分	全員 ↓ 27名
問題 B	27名	27	7点	0点	10点	10分	全員 ↓ 27名
問題 C	27名	27	10点	0点	10点	10分	全員 ↓ 27名
問題 D	27名	27	8点	0点	10点	10分	全員 ↓ 27名
問題 E	27名	27	5点	0点	10点	10分	全員 ↓ 27名
問題 F	27名	27	8点	0点	10点	10分	全員 ↓ 27名
問題 G	27名	27	4点	0点	10点	10分	全員 ↓ 27名
問題 H	27名	27	7点	0点	10点	10分	全員 ↓ 27名

工夫3 受験者ごとに問題の解答順を指定

ねらい

- 受験者同士の教え合いを防止

※ 解答順は無作為に設定

試験問題の解答順について

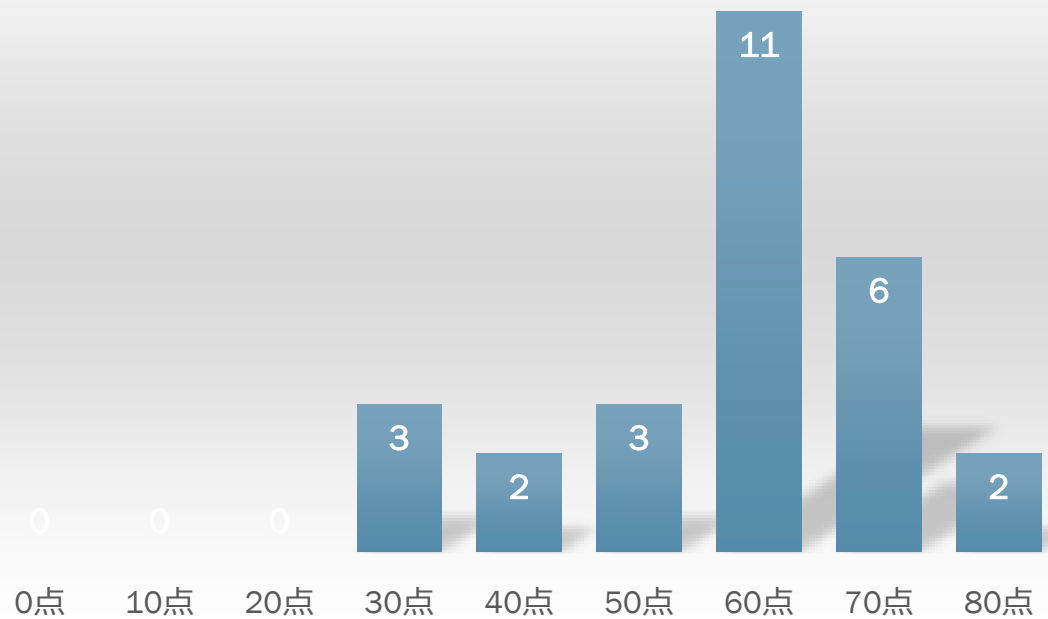
自身の学籍番号の欄の解答順を確認し、メモするなどしておいてください。

学籍番号	解答順
■■■■	問題A→問題F→問題B→問題H→問題G→問題E→問題D→問題C
■■■■	問題C→問題D→問題H→問題G→問題E→問題A→問題F→問題B
■■■■	問題D→問題A→問題E→問題C→問題B→問題H→問題F→問題G
■■■■	問題H→問題D→問題F→問題G→問題E→問題B→問題A→問題C
■■■■	問題G→問題F→問題C→問題B→問題H→問題E→問題A→問題D
■■■■	問題H→問題F→問題E→問題G→問題B→問題A→問題D→問題C
■■■■	問題A→問題H→問題E→問題C→問題F→問題B→問題G→問題D
■■■■	問題F→問題D→問題G→問題H→問題B→問題C→問題E→問題A
■■■■	問題F→問題B→問題H→問題C→問題E→問題G→問題A→問題D
■■■■	問題C→問題B→問題H→問題G→問題A→問題D→問題F→問題E
■■■■	問題G→問題B→問題C→問題H→問題A→問題F→問題D→問題E
■■■■	問題F→問題E→問題C→問題A→問題H→問題G→問題B→問題D
■■■■	問題D→問題C→問題G→問題A→問題E→問題F→問題H→問題B
■■■■	問題A→問題F→問題E→問題C→問題H→問題D→問題G→問題B
■■■■	問題E→問題D→問題C→問題A→問題B→問題G→問題F→問題H
■■■■	問題F→問題C→問題D→問題G→問題B→問題A→問題E→問題H
■■■■	問題F→問題C→問題B→問題D→問題G→問題H→問題E→問題A
■■■■	問題B→問題G→問題D→問題A→問題E→問題C→問題F→問題H
■■■■	問題H→問題C→問題B→問題G→問題F→問題E→問題D→問題A

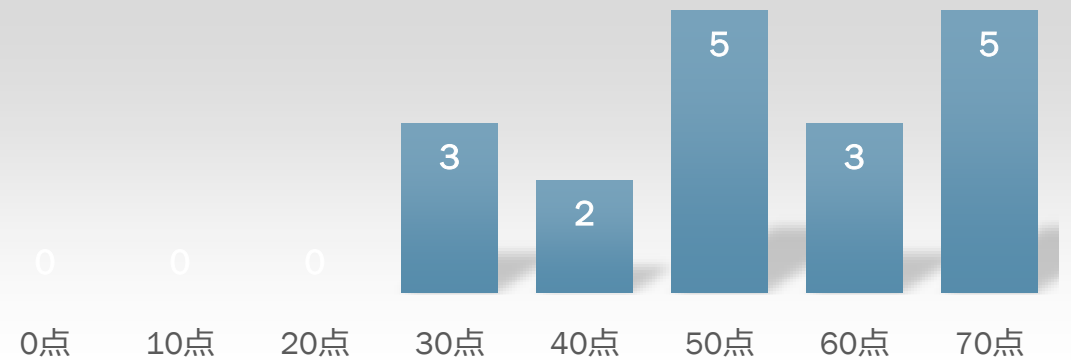
試験結果

- トラブルは無かった
- 得点分布は以下の通り

代数学基礎 (80点満点)



代数学 I (70点満点)



所感

苦勞した点

- 問題内容に制限がある
- 作成に時間がかかる

良かった点

- 採点が自動
- 成績評価の根拠が明確にできる

農学部で実施した 「データサイエンス入門」の取組

農学部生物資源科学科
神山拓也・福井えみ子

全体の授業構成

	内容	使用したソフトと資料
第1回	ガイダンス	C-learning
第2回	Microsoft Office365の利用	C-learningとZoom
第3回	なぜDSを学ぶのか？（吉田先生）	
第4回	Word 文書作成	C-learningとZoomと教科書
第5回	Word 表作成	C-learningと教科書
第6回	Word 長文作成とビジネス文書	C-learningとZoomと教科書
第7回	Excel 基礎知識	C-learningと教科書
第8回	Excel 表の作成	C-learningと教科書
第9回	情報セキュリティー1	
第10回	情報セキュリティー2	
第11回	Excel 表の作成	C-learningと独自の作成資料
第12回	Excel 棒グラフの作成	C-learningと独自の作成資料
第13回	Excel 相関の図の作成	C-learningと独自の作成資料
第14回	テスト	C-learning
第15回	解説	Zoom

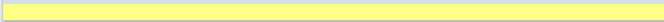

レポートと卒論作成に向け、Wordの基本的な使い方とExcelによる作図方法を中心に講義

授業の準備状況に関するアンケート（1、2回目）

設問.1

「情報リテラシー Office2013、実教出版」の教科書を宇都宮大学生協で購入しましたか？

回答

番号	回答内容	グラフ
1	はい	
2	いいえ	

設問.2

* 設問1でいいえの方のみ回答してください。

大学に来れない状況ですか？

(ニュースおよび協働版に記載した方法で生協から購入してください。)

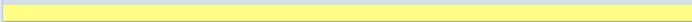

回答

番号	回答内容	グラフ
1	はい	
2	いいえ	
	(無回答)	

設問.3

家にパソコンはありますか？

回答

番号	回答内容	グラフ
1	はい	
2	いいえ	

≡ 〇〇〇

- 教科書の購入
- Office365のインストール
- 教務ポータルの入り方
- uumailの利用
- UU Career Naviの利用

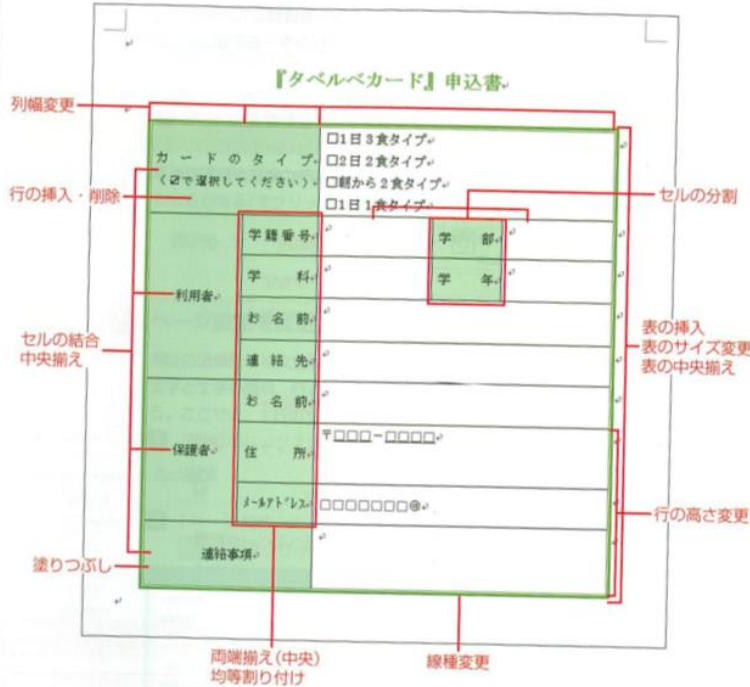
担任と協力してメール、LINE、C-learning、Zoomを利用して個別に対応

テキストを利用した授業（4～8回目）

4 表の作成

例題3 次の文書を作成しよう

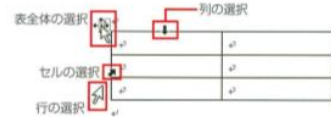
(ファイル名: 例題 03_カード申込書)



- ダウンロードデータから「例題 03_カード申込書」を開く。

1 表を作成する

「表」を使うとデータが項目ごとに整列されるので、内容がわかりやすくなる。表は罫線で囲まれた1つひとつのマス目が並んだもので、このマスを「セル」という。セルは縦方向に並んで「列」を、横方向に並んで「行」を構成している。表に行や列を追加・削除したり、表全体を移動したりするなどの場合は、それぞれの操作に合わせて、セル、行、列、表の単位であらかじめ範囲を選択する。選択するときはマウスポインタの位置と形状に注意しよう。



1 表の挿入

4行目にカーソルを移動する。

- 1 【挿入】タブを選択し、【表】をクリックする。

表のマス目が表示されるので、右に3マス分、下に7マス分の位置をポイントし、マス目の上に「表(7行×3列)」と表示されることを確認してクリックする。



カーソル位置から表が挿入され、【表ツール】の【デザイン】タブと【レイアウト】タブが表示される。

2 文字の入力

作成した表に文字を入力しよう。

- 1 図のように文字を入力する(1～2列目)。

利用者	学籍番号	
	お名前	
	連絡先	
保護者	お名前	
	住所	
	メールアドレス	
連絡事項		

テキストを利用した授業（4～8回目）

「第5回課題」提出期限：5/22(金)17時

* 実習05-06（P47-48）を作成して提出して下さい。

* 以下の葉緑体内の①②のグルコース生成の化学式を上記の表の下に記入して提出して下さい。（P29フォント参照）

- ① $12\text{H}_2\text{O} + \text{光のエネルギー} + 12\text{NADP}^+ \rightarrow 12\text{NADPH} + 12\text{H}^+ + 6\text{O}_2$
- ② $6\text{CO}_2 + 12\text{NADPH} + 12\text{H}^+ \rightarrow 2\text{グリセルアルデヒド-3-リン酸} + 12\text{NADP}^+ + 6\text{H}_2\text{O}$

課題はWordでファイル名を下記のように「第〇回 学籍番号 + 氏名」として保存し、提出してもらおう



一括ダウンロードで採点

Top > デーゼイン入門 > レポート > 第11回の授業と課題...

デーゼイン入門 (前期) 68名 [G283005]

第11回の授業と課題 | 提出状況

提出：60 / 68 未提出者をチェック

1ページあたりの表示件数：全て ▾

68 件中 1 件から 68 件までを表示

▲ 学籍番号

▼ 提出日時

設定

- ☑ チェックした学生に連絡
- ☑ 提出ファイルアーカイブの作成
- 全既読にする
- 📄 提出情報のダウンロード (CSV)

全文表示 | アーカイブファイルのダウンロード (2020/07/05 15:24 817.7KB)

ZoomとC-learningを使ってわからない点をフォロー

口頭での質問は、Zoomで4/30 8:40-10:20の間に受け付けます。
文章でも質問の場合は、C-Learningの協働板で随時受け付けます。

Zoom(テレビ電話のようなもの)へは、下記アドレスから入ってください。

Zoomミーティングに参加する

トピック： 第二回データサイエンス入門

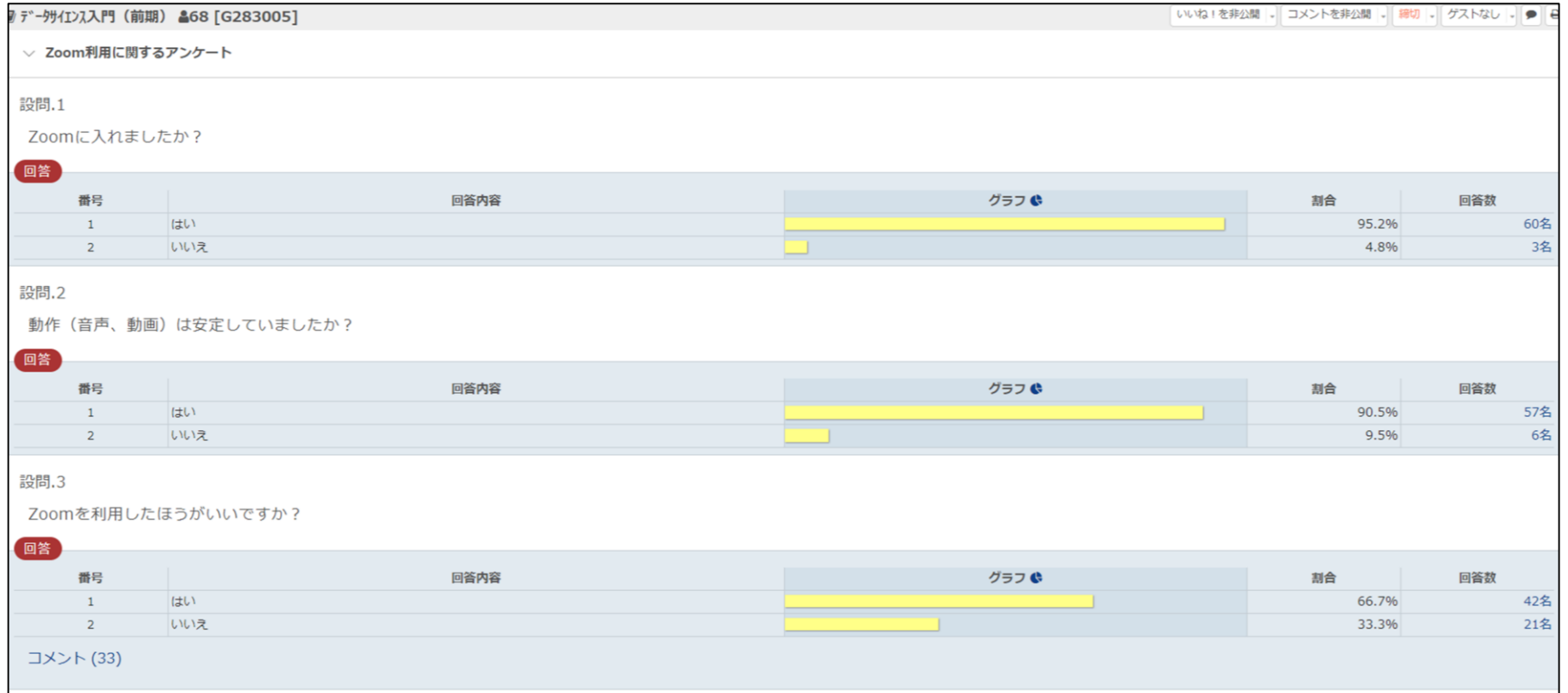
Top > データサイエンス入門 > 連絡・相談 > 相談履歴 | MUHAMMAD MU...

📁 データサイエンス入門 (前期) 👤 68名 [G283005]

💬 相談履歴 | [REDACTED] [新規作成](#)

- 📁 テストの再提出依頼
福井えみ子 2020/08/04 18:47
- 📁 提出エラー 🔗 2
[REDACTED] 2020/07/16 01:54
- 📁 授業時間 3
[REDACTED] 2020/05/11 10:04
- 📁 uumailを確認してください
T. Koyama 2020/04/20 14:06

新しいソフトウェア等を利用する際にはアンケート (Zoomの利用について)



Zoomに入れない、動作が安定しない学生がいる

新しいソフトウェア等を利用するにはアンケート (Zoomの利用について)

選択した理由があれば、記入してください。

全て表示 1 2 3

2 今のままでも特筆して問題はありません

2 マイクが使えないため。

2 パソコンでzoomを利用すると接続（おそらくWIFI環境）が悪く数分おきに落ちてしまいます。

zoomでの授業中、同時にパソコンで何かする必要がある場合（パソコンの画面共有など）は参加が難しいかもしれません。
スマートフォンからのzoom参加は可能なので傾聴するだけの場合は利用しても大丈夫です。

2 生配信よりもpdfを自分のペースでじっくり用いる方が効率よく授業に取り組むことができると思うからです。

2 私は問題ありませんが、インターネット接続の関係でうまくいかない人もいると思うし、今の授業方法に不便はないのでzoomは利用しなくてもいいと思います。

2 今のところパソコンを利用した個人作業が多く、必要性があまり感じられないため。

2 まだ慣れていないので操作方法を調べて練習しようと思います。

2 すみません。寝ていました。

zoomは他の授業や私用では問題はないので大丈夫だと思います。

2 使う必要がないから

2 入れるときと入れないときがあるため

マイクが使えない、ネット環境が悪い学生がいる

Excelについては独自に作成した資料を利用して授業

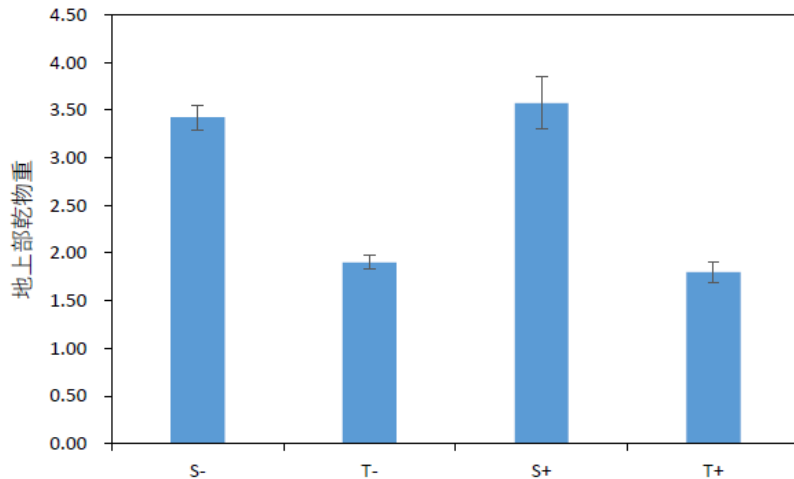
元データ

反復	接種方法	菌の有無	地上部乾物重	リン濃度	感染率	精子実重
1	S	-	3.2	0.37	67	323
2	S	-	3.7	0.41	44	335
3	S	-	3.6	0.42	60	301
4	S	-	3.2	0.38	63	316
1	T	-	1.7	0.23	53	275
2	T	-	2.0	0.32	71	303
3	T	-	2.0	0.35	57	311
4	T	-	1.9	0.25	59	323
1	S	+	3.0	0.37	59	328
2	S	+	3.4	0.43	77	349
3	S	+	4.3	0.44	79	383
4	S	+	3.6	0.39	86	348
1	T	+	1.7	0.20	37	307
2	T	+	1.8	0.30	39	277
3	T	+	2.1	0.38	55	306
4	T	+	1.6	0.23	46	289

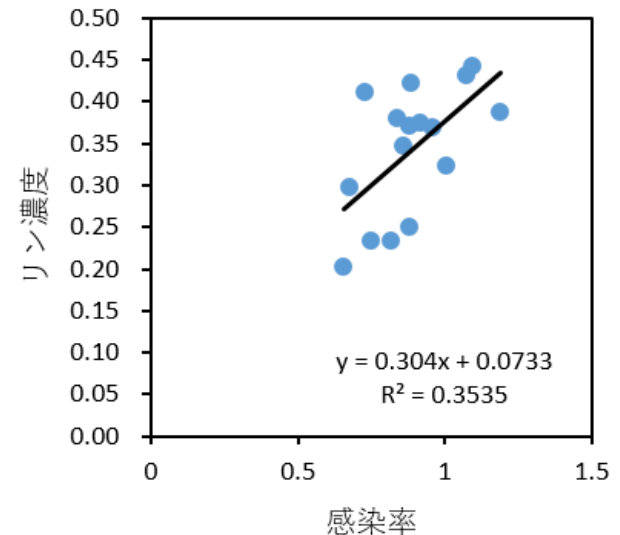
表

接種方法	菌の有無	地上部乾物重	リン濃度	感染率	精子実重
S	-	3.43	0.40	58.5	319
T	-	1.90	0.29	60.0	303
S	+	3.58	0.41	75.3	352
T	+	1.80	0.28	44.3	295

棒グラフ



散布図



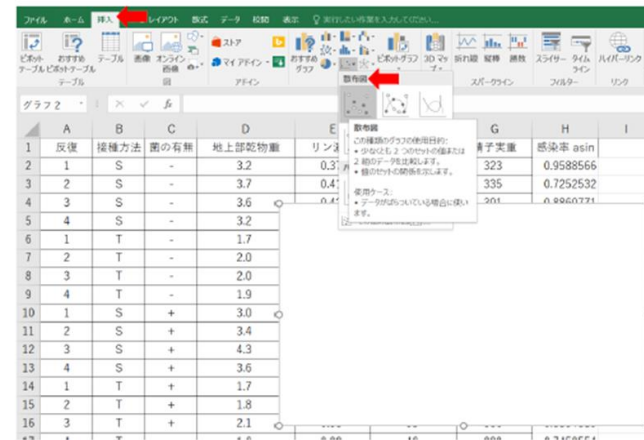
エクセル用のpdf資料の例

線形回帰

反復	接種方法	菌の有無	地上部乾物重	リン濃度	感染率	精子実重
1	S	-	3.2	0.37	67	323
2	S	-	3.7	0.41	44	335
3	S	-	3.6	0.42	60	301
4	S	-	3.2	0.38	63	316
1	T	-	1.7	0.23	53	275
2	T	-	2.0	0.32	71	303
3	T	-	2.0	0.35	57	311
4	T	-	1.9	0.25	59	323
1	S	+	3.0	0.37	59	328
2	S	+	3.4	0.43	77	349
3	S	+	4.3	0.44	79	383
4	S	+	3.6	0.39	86	348
1	T	+	1.7	0.20	37	307
2	T	+	1.8	0.30	39	277
3	T	+	2.1	0.38	55	306
4	T	+	1.6	0.23	46	289

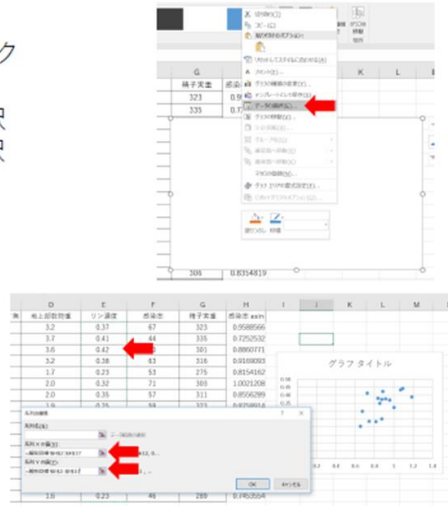
47

散布図の挿入



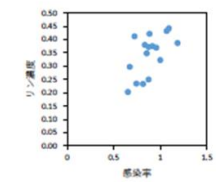
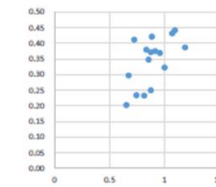
データの選択

- 図上で右クリック
- 追加
- 系列xの値を選択
- 系列yの値を選択



復習

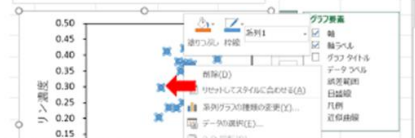
- 図外側の削除
- 図中縦・横線削除
- 目盛の挿入
- 枠の色を黒にする
- フォントを黒にする
- 軸ラベルの挿入
- 軸ラベルの記載



50

近似曲線の追加

- データ上で右クリック
- 近似曲線の追加



近似曲線を実線に、黒にする

- 近似曲線を選択
- 右クリック

- 動画はWindows10に標準装備されている「Xbox Game Bar」を利用

<https://i-tsunagu.com/windows/windows%EF%BD%B0recording-gamebar/>

- 動画ファイルはWindows10に標準装備されている「フォト」を使って圧縮

<https://media.tebiki.jp/002>

- 音声ファイルは動画からVLCメディアプレイヤーを使って抽出

<https://aviutl.info/vlc-encode/>

新しいソフトウェア等を利用する際にはアンケート (動画の利用について)

データベース入門 (前期) 68 [G283005]

いいね!を非

第11回 エクセルの授業に関して

設問.1

授業の課題はできましたか？

回答

番号	回答内容	グラフ
1	はい	
2	いいえ	

設問.2※複数回答

設問1で「いいえ」と答えた方は理由を教えてください。
(複数回答可です)

回答

番号	回答内容	グラフ
1	時間がたりない	
2	資料が見えない	
3	音声が聞こえない	
4	難しい	
5	その他	
	(無回答)	

設問.3

設問2で「その他」を選んだ方は自由にコメントを記載してください。コメントありますか？
・・・Zoomの解説が欲しい、解答例やコメントが欲しいなど

回答

番号	回答内容	グラフ
1	はい	
	(無回答)	

コメント (3)

音声が聞こえない学生がいる

テストの方法

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	処理	反復	収量	花房数				
2	対照区	1	4.1	103				
3	対照区	2	4.0	97				
4	対照区	3	5.2	119				
5	対照区	4	3.6	85				
6	1日湛水区	1	4.7	141				
7	1日湛水区	2	5.4	95				
8	1日湛水区	3	5.8	78				
9	1日湛水区	4	4.2	104				
10	3日湛水区	1	3.8	94				
11	3日湛水区	2	4.2	37				
12	3日湛水区	3	4.6	48				
13	3日湛水区	4	4.2	70				
14	6日湛水区	1	1.6	49				
15	6日湛水区	2	1.6	30				

新たなエクセルデータ



学籍番号 _____ 名前 _____

問い1：処理毎に収量の平均値と標準誤差を算出し、棒グラフで図示し、ワードに貼り付けよ。なお、作成に当たっては、これまでの授業の内容を反映すること。

問い2：元のデータ全てを用い、花房数と収量との関係を図示し、ワードに貼り付けよ。なお、作成に当たっては、これまでの授業の内容を反映すること。

図1. 湛水処理が収量へ及ぼす影響。

図2. 花房数と収量との関係。

結果と考察 ↓

1. 湛水処理が収量へ及ぼす影響について

..... ↓

(・の部分に2行以上自由に記載してください)。

2. 花房数と収量との関係について

..... ↓

(・の部分に2行以上自由に記載してください)。

テストのみ当日中に提出

→ 後日、Zoomで解説し、録画した映像をC-learningにアップロード

授業アンケート結果

設問 番号	設問内容	回答率 (%)					無効	有効	平均
		5	4	3	2	1			
		そう思う	ある程度そう 思う	どちらとも いえない	あまりそう思わ ない	そう思わな い			
1	この授業には主体的に取り組んだ。	70.5	24.6		3.3	1.6	0	61	4.59
3	この授業のねらい, 組み立て (導入, 展開等), 進み具合・分量は適切だった。	31.1	55.7		13.1	0	0	61	4.05
4	教材・教具 (教科書、資料、板書、音声・動画、プロジェクタ等) の使用は適切だった。	39.3	50.8		6.6	3.3	0	61	4.16
7	全体として教員はわかりやすく教えていたか。	36.1	54.1		6.6	3.3	0	61	4.13
8	この授業に関連する分野への興味や学修意欲がわいた, または興味や学修意欲が増した。	31.1	52.5		11.5	4.9	0	61	3.93
9	シラバスで説明されている知識・能力を新たに得た, または知識が深まった, 能力が向上した。	32.8	52.5		9.8	4.9	0	61	3.98
10	この授業を通して自分の持つ知識, 能力に自信が生まれた, または自信が強くなった。	29.5	47.5		18	4.9	0	61	3.79
11	1~10を振り返ってみて, この授業に満足した。	42.6	47.5		8.2	1.6	0	61	4.21

その他, 授業改善に繋がるアイデア等があればご入力ください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 動画の教材が分かりやすかったです。 |
| 2 | 一部講義で、動画を用いた解説を行っていたのがとてもわかりやすかった。 |
| 3 | 前半のワードの授業が教科書を見て自分で進める形式だったので、とても分かりにくかったです。 |
| 4 | 途中から入った画面キャプチャーの動画がとてもわかりやすかったです |
| 5 | zoomを用いて教えてほしかった |

- 知識と能力を向上させるためにデータの見方と扱い方を教える必要がある
- 動画は必要

生物統計学の授業構成

	内容
第1回	統計学の基本的な考え方
第2回	エクセルの基本的な操作法
第3回	統計量とデータの性質、変量の分布の形
第4回	二項検定とカイ二乗検定
第5回	
第6回	t検定
第7回	
第8回	
第9回	相関分析・回帰分布
第10回	
第11回	三群以上の差の検定（一元配置分散分析）
第12回	
第13回	2つの要因が含まれる検定（二元配置分散分）
第14回	
第15回	復習

データのまとめ方から理論へ

受賞者による実践報告

地域デザイン科学部 大森 玲子 教授

共同教育学部 石塚 諭 講師

農学部 金野 尚武 准教授

基盤教育 藤井 広重 助教

令和2年度(第17回)ベストレクチャー賞受賞者発表会2021.1.5

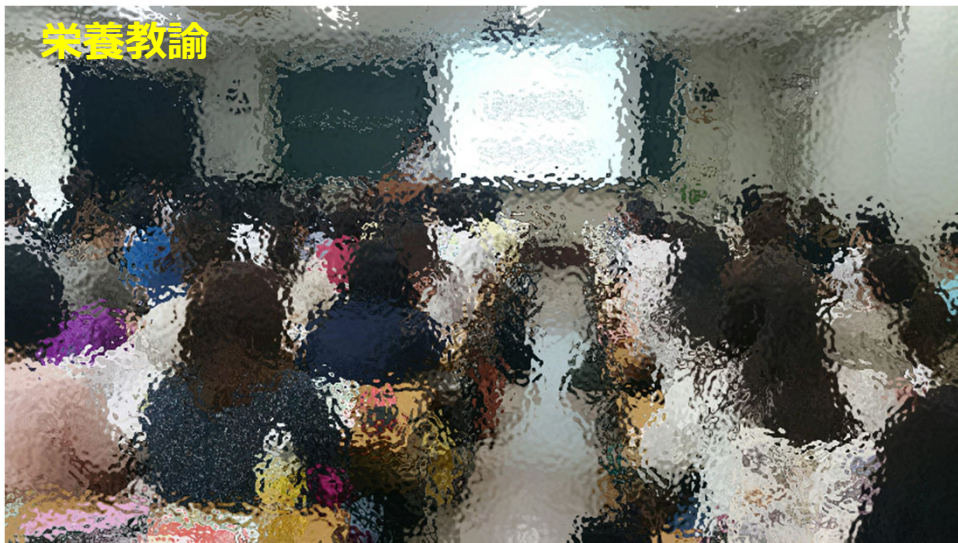
地域食育論

—身近な食への意識付けと行動変容を期待して—

地域デザイン科学部

大森玲子

營養教諭



市教委指導主事



外食產業經營者



食品加工經營者



授業概要

構成：

◆終盤(11-15週) グループワーク

食を通じた地域の課題解決に向けた提案

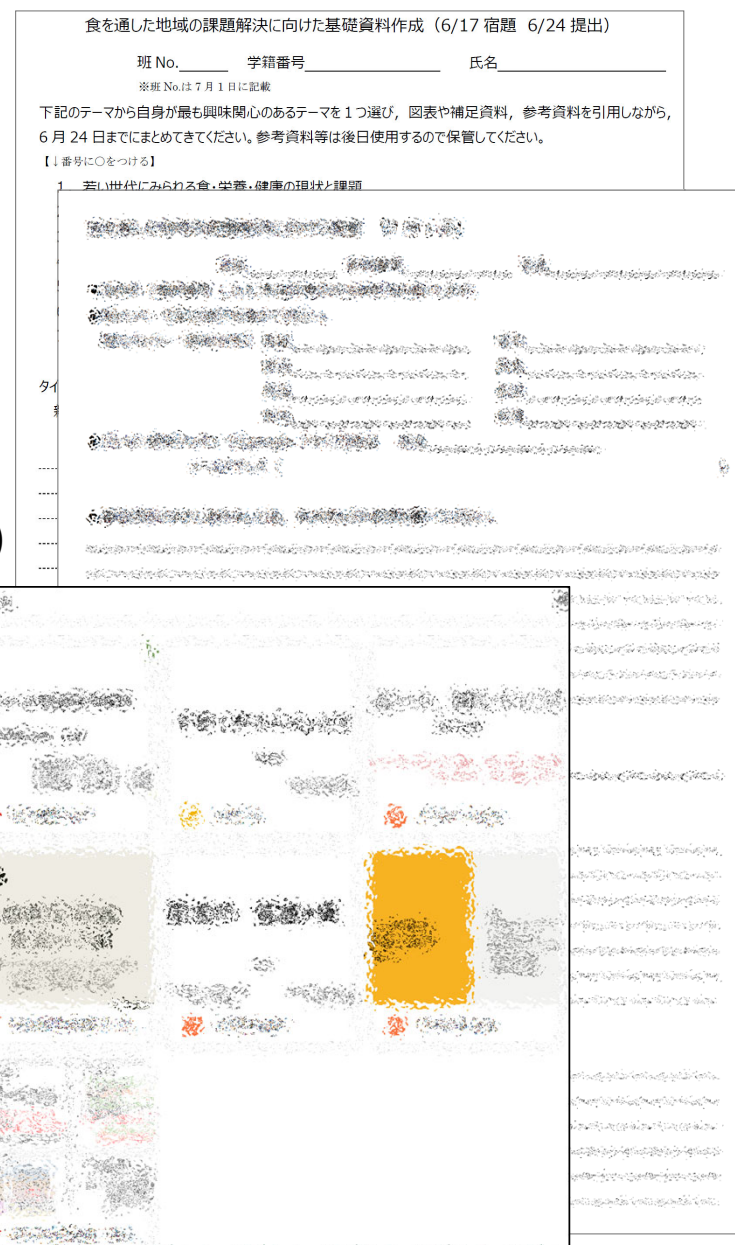
⇒ 7つのテーマから興味関心のあるテーマを1つ選定

⇒ 事前に現状と課題についてワークシートに整理(第10週までに)

⇒ 選定したテーマごとにグルーピング

⇒ 第11週以降、グループ活動

⇒ プレゼン資料提出先クラウドストレージ
(今回GoogleDrive活用)



⇒第14, 15週、提案発表会(評価 4 観点 5 段階 班間班内)

フリーライダーを出さない工夫

⇒結果発表

This image shows a large, empty grid table with approximately 10 columns and 10 rows. The grid is intended for data entry during a proposal presentation or evaluation session. The table is mostly blank, with some faint text visible in the header and footer areas.

This block contains several elements related to the proposal presentation process:

- Grid with Numerical Data:** A grid with 5 columns and 5 rows. The bottom row contains numerical values: 4.0, 4.0, 3.0, 4.0, 4.0. The rightmost column contains values: 4.0, 4.0, 4.0, 4.0, 4.0. Some cells are highlighted in yellow.
- Text Boxes:** Several text boxes containing Japanese text, likely instructions or notes for the presentation.
- Images:** Two images of food items: a bowl of ramen with a soft-boiled egg and a plate of strawberries.

ご清聴ありがとうございました

中等保健体育科教育法（体育1）



担当教員

石塚 諭（共同教育学部）

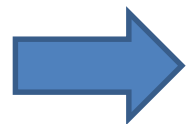
授業の概要

▶対象 保健体育分野2年（後期）24名

▶木曜日 7・8限 講義

▶講義の目標

- ①保健体育科の授業づくりにおける理論と指導法を小学校と関連させながら理解する。
- ②基礎理論を踏まえた保健体育授業を立案し、実践することができる。
- ③学習指導案を作成することができる。

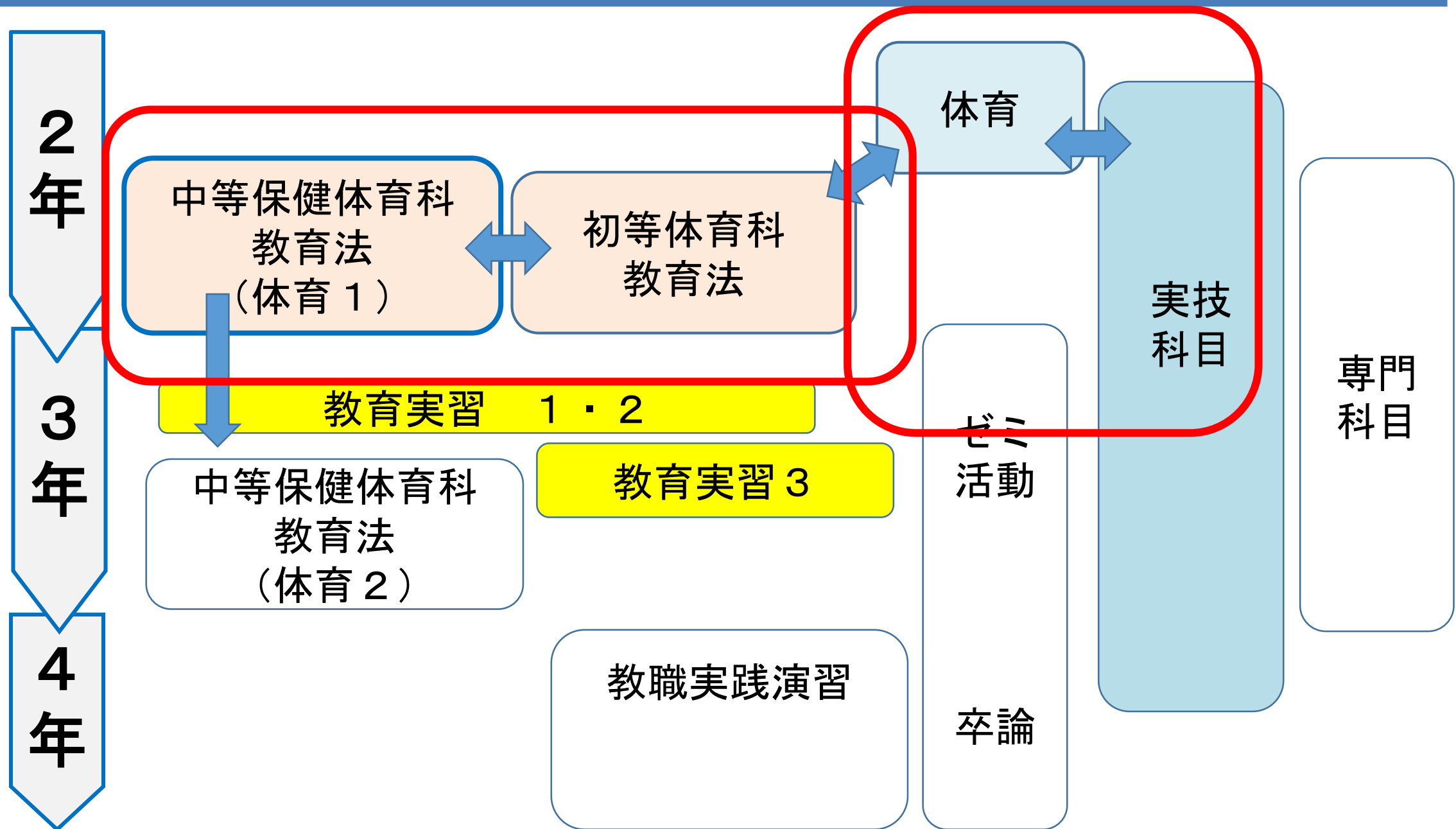


教育実習前にそのための課題を抽出する

授業で意識した点

- ▶ 他授業の関連と本授業の**位置づけ**を明確にする
- ▶ 授業の**構成**
他授業と関連させ、内容を深める
- ▶ 次に生かす「**まとめ方**」を意識する

他授業の関連と本授業の位置づけを明確にする



授業の構成

日にち	回	初等体育科教育法	日にち	回	中等保健体育科教育法(体育1)
10月2日	第1回	目的論① 体育の理念の変遷と課題 子どもの現状	10月3日	第1回	目的論① 体育の理念の変遷と課題 子どもの現状
10月9日	第2回	目的論② 体育のゴールイメージ 教材論① 教材研究とは	10月10日	第2回	目的論② 体育のゴールイメージ 教材論① 教材研究とは
10月16日	第3回	教師行動① 学習評価論 学習指導要領の構成と内容			
10月23日	第4回	運動の特性論 学習指導要領の構成と内容	10月24日	第3回	教師行動① 学習評価論 学習指導要領の構成と内容
10月30日	第5回	授業の実際① 教師行動の基本	10月31日	第4回	運動の特性論 授業の実際① (小・中の違い)
			11月7日	第5回	教師行動の基本と授業構成の基本 (授業参観)
11月13日	第6回	内容論①「体づくり運動系の内容と授業づくり」	11月14日	第6回	内容論①「体づくり運動系の内容と授業づくり」
11月20日	第7回	授業の実際②	11月21日	第7回	授業の実際②
11月27日	第8回	内容論②「陸上系・器械運動系・水泳運動系の内容と授業づくり」	11月28日	第8回	学習指導案の作成について (実地指導講師)
12月4日	第9回	学習指導案の作成について (実地指導講師)	12月5日	第9回	内容論②「陸上系・器械運動系・水泳運動系の内容と授業づくり」
12月11日	第10回	内容論③「ボール運動系・表現系の内容と授業づくり」	12月12日	第10回	内容論③「ボール運動系・表現系の内容と授業づくり」
12月18日	第11回	授業の実際② (熟達教師の授業)	12月19日	第11回	授業の実際③ (熟達教師の授業)
12月25日	第12回	学習指導案の作成と模擬授業の計画	1月9日	第12回	学習指導案の作成と模擬授業の計画
1月8日	第13回	模擬授業①(実地指導講師)	1月16日	第13回	模擬授業①
1月22日	第14回	模擬授業②	1月23日	第14回	模擬授業② (実地指導講師)
1月29日	第15回	模擬授業③ 授業のまとめ	1月30日	第15回	模擬授業③ 授業のまとめ

＜序盤＞
基本的な内容の確認

＜中盤＞
実践的な内容

＜終盤＞
課題の抽出

日にち	回	初等体育科教育法	日にち	回	中等保健体育科教育法(体育1)
10月2日	第1回	目的論① 体育の理念の変遷と課題 子どもの現状	10月3日	第1回	目的論① 体育の理念の変遷と課題 子どもの現状
10月9日	第2回	目的論② 体育のゴールイメージ 教材論① 教材研究とは	10月10日	第2回	目的論② 体育のゴールイメージ 教材論① 教材研究とは
10月16日	第3回	教師行動① 学習評価論 学習指導要領の構成と内容			
10月23日	第4回	運動の特性論 学習指導要領の構成と内容	10月24日	第3回	教師行動① 学習評価論 学習指導要領の構成と内容
10月30日	第5回	授業の実際① 教師行動の基本	10月31日	第4回	運動の特性論 授業の実際① (小・中の違い)
			11月7日	第5回	教師行動の基本と授業構成の基本 (授業参観)

<序盤>

基本的な内容
の確認

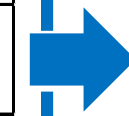
- ▶ 初等体育科教育法の**復習**
- ▶ 小学校と中学校の**違い**に着目
- ▶ 授業形態 講義 + 少人数での**議論**
(グループは内容によって変える)

近隣の学校で実際の体育授業を参観し、授業者と話し合いを行いました。

授業の構成

<中盤>

11月13日	第6回	内容論①「体づくり運動系の内容と授業づくり」	11月14日	第6回	内容論①「体づくり運動系の内容と授業づくり」
11月20日	第7回	授業の実際②	11月21日	第7回	授業の実際②
11月27日	第8回	内容論②「陸上系・器械運動系・水泳運動系の内容と授業づくり」	11月28日	第8回	学習指導案の作成について (実地指導講師)
12月4日	第9回	学習指導案の作成について (実地指導講師)	12月5日	第9回	内容論②「陸上系・器械運動系・水泳運動系の内容と授業づくり」
12月11日	第10回	内容論③「ボール運動系・表現系の内容と授業づくり」	12月12日	第10回	内容論③「ボール運動系・表現系の内容と授業づくり」
12月18日	第11回	授業の実際② (熟達教師の授業)	12月19日	第11回	授業の実際③ (熟達教師の授業)



<中盤>
実践な内容

▶ 中学校特有の領域 「武道」 など

▶ 初等：基本的な内容 ⇒ 中等：応用的な内容

(教師の意図や信念の違い)

授業の構成 <中盤>

例えば、授業中の教師行動



初等：基本的な行動

観察や相互作用行動を通して、適切なフィードバックを与えていく。

中等：教師の意図によって異なる行動

ゲーム中にどのような行動をとるか？

介入？ 観察？ フィードバック？

特徴的な教師を取り上げ、その意図を議論する。

授業の構成 <中盤>

例えば、**基礎感覚づくり**に対する教師の考え

器械運動における指導法の対談

- ▶ 基礎感覚づくりが大切・・・共通理解
- ▶ どのような方法を採用するか？・・・**対立**

改訂期の授業づくりでいま、何がどう問題か

座談会

出席者
近藤智靖 日本体育大学教授
成家篤史 帝京大学講師
大後戸一樹 広島大学准教授
佐藤善人 岐阜聖徳学園大学准教授
清水由 筑波大学附属小学校教諭

近藤(司会) ●お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。最初は簡単に自己紹介をお願いします。最初に簡単な自己紹介をお願いします。

清水 ●東京都の公立小学校を経験した後、現在は筑波大学附属小学校に勤め今年で12年目になりました。附属小の体育授業は成果が出ていると自負していますが、12年も同じ場所に勤めていると考えが固定化されてしまうので、いろいろな考え方の授業を学んでいく必要があると感じています。

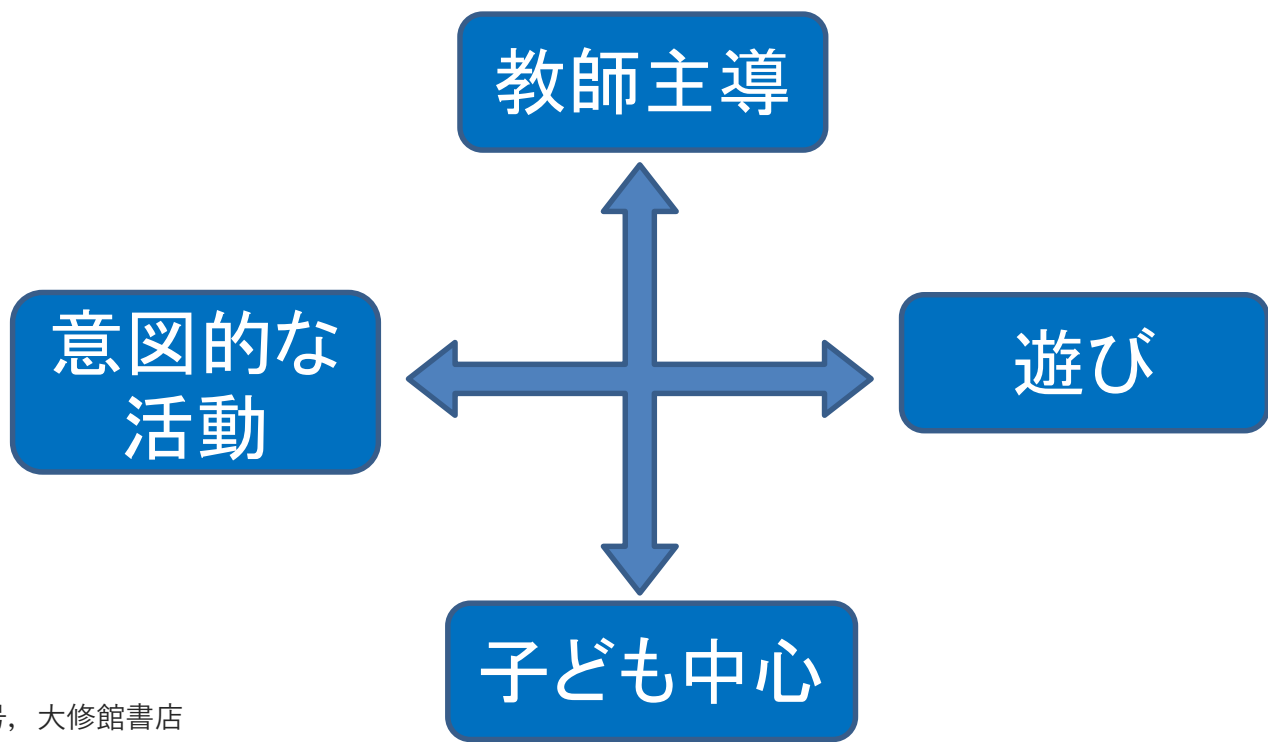
佐藤 ●岐阜聖徳学園大学で14年、合わせて19年間現場にいました。子どもが何をしているのか、何を感じながら学習に取り組んでいるのかというところに興味をもち始めた時に、それが一番見えやすいのは器械運動だと考えてきました。

成家 ●帝京大学の教育学部に勤めています。その前は埼玉県の公立小学校、お茶の水女子大学附属小

近藤 ●以前は小学校に3年間勤務していました。器械運動を専門に取り組んできたわけではなく、今はボール運動や長距離走、持久走に興味関心をもっています。

大後戸 ●広島大学教育学部で初等教員の養成コースに勤めています。その前は公立小学校で5年、広島大学附属小学校で14年、合わせて19年間現場にいました。子どもが何をしているのか、何を感じながら学習に取り組んでいるのかというところに興味をもち始めた時に、それが一番見えやすいのは器械運動だと考えてきました。

清水 ●お茶の水女子大学附属小



授業の構成

<終盤>

12月25日	第12回	学習指導案の作成と模擬授業の計画	1月9日	第12回	学習指導案の作成と模擬授業の計画
1月8日	第13回	模擬授業①(実地指導講師)	1月16日	第13回	模擬授業①
1月22日	第14回	模擬授業②	1月23日	第14回	模擬授業② (実地指導講師)
1月29日	第15回	模擬授業③ 授業のまとめ	1月30日	第15回	模擬授業③ 授業のまとめ

➡ <終盤>
課題の抽出

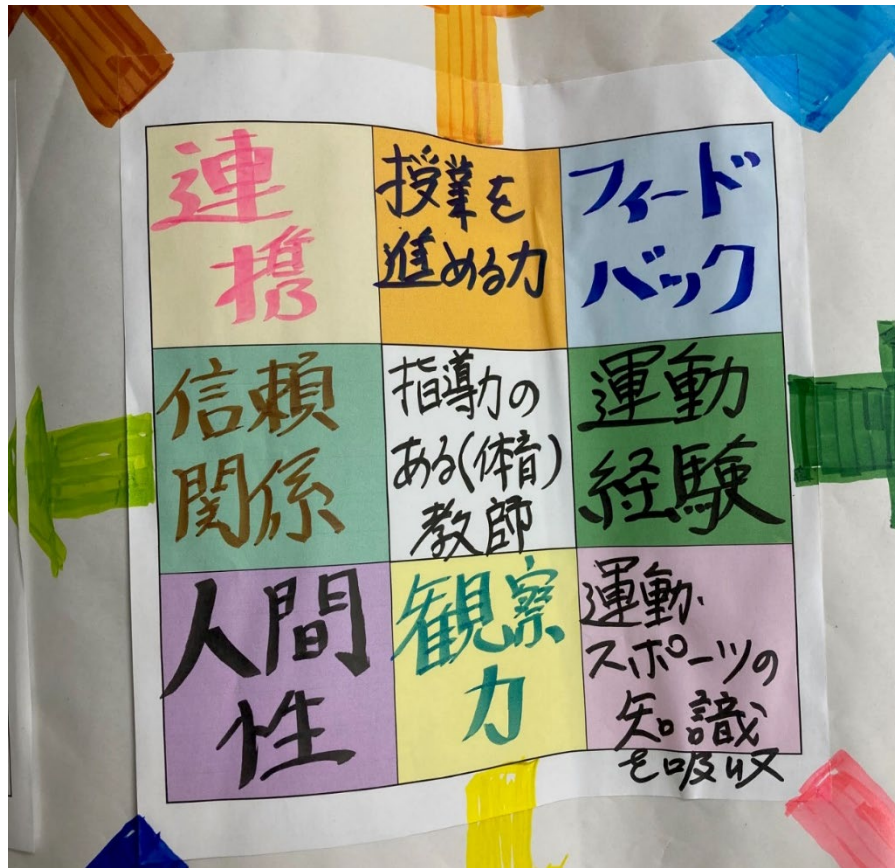
▶ 学習指導案の作成

▶ 模擬授業 6グループに分けて実施

学習指導案の作成 < 授業中の教師行動・教材、教具の理解

▶ 模擬授業から教育実習へ向けた課題の抽出

次に生かす「まとめ方」を意識する

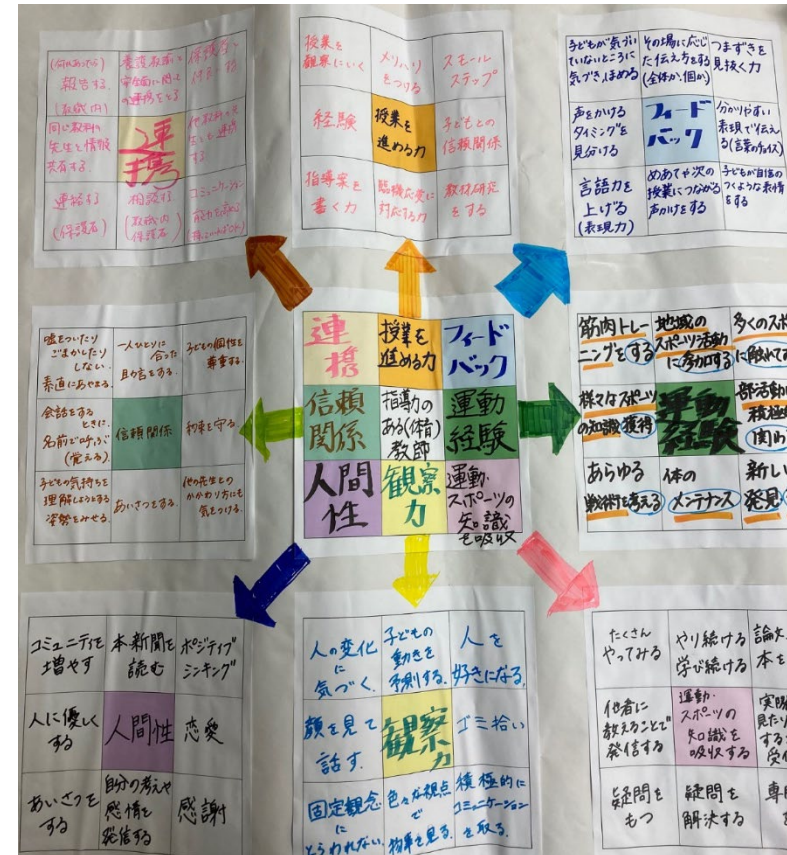
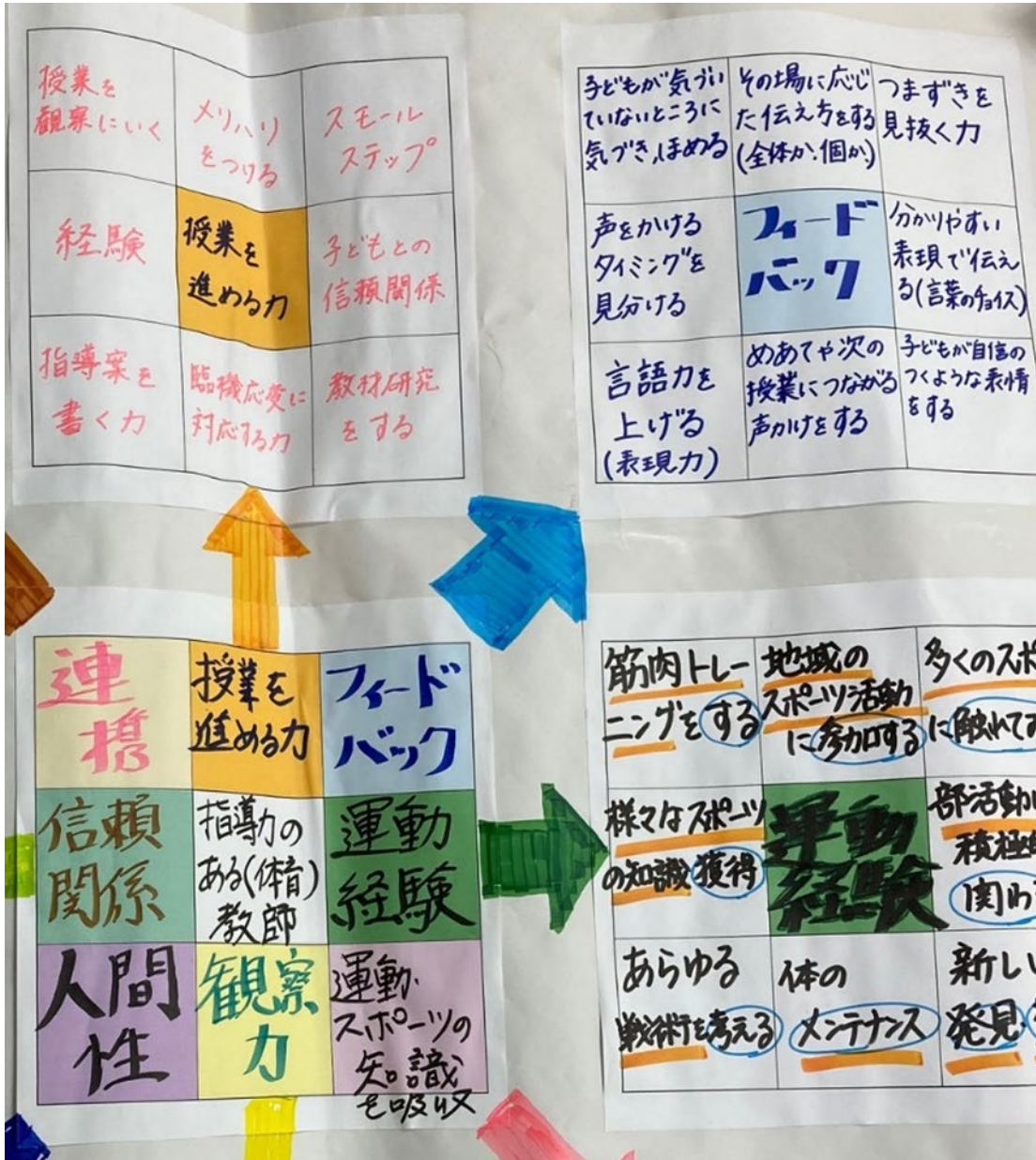


▶ マンダラチャートの活用
個人で作成 ⇒ 全体で集約

	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストの強化
	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールをする	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩周りの強化
	人間性	運	変化球	可動域	ライナーキャッチボール	ピッチングを増やす
				カウント		

次に生かす「まとめ方」を意識する

- ▶ 教育実習の振り返りに活用
- ▶ 中等保健体育科教育法（体育2）の課題抽出に活用



次に生かす「まとめ方」を意識する

1 授業中の教師行動、教授技術

○個別指導と全体指導のバランス

→できる子、できない子への対応について オフタスク行動への対応

○指導案通りに授業が進まないことについて

○教師が話す内容の整理

→しゃべり方や内容の台本？

2 授業づくり、授業計画

○児童生徒のレベルに合わせた授業内容やルールの設定について

→児童生徒の実態を知ったうえでの授業づくりとは？ 展開の流れや内容？

○時間配分（ルールの説明の長さや仕方）

→話過ぎると子どもが飽きる

○チームわけ グループ分け 人間関係 技能差 知識の差

○「発表」することについて

次に生かす「まとめ方」を意識する

3 課題の提示について

○ICTの効果的な活用について

→模造紙やホワイトボード、TVの活用（説明が短いと質問が多く出る）

○見本を見せることについて

4 ワークシートの活用・振り返りの時間について

○活動メインなのか考えることメインなのか？

→プリントやワークシートの活用について 目的や方法は？

○振り返りについて

→何のために振り返りをするのか？ 何をする時間なのか？ 方法

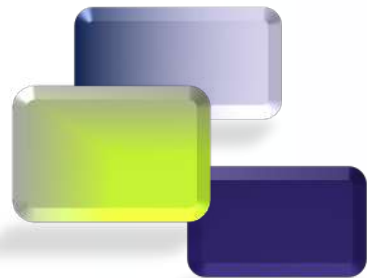
5 教材研究（特にボール運動、球技系）

○「できる人」と「できない人」双方が楽しむことのできるルール設定とは？

→簡易的ルールの設定と個人的スキルの関係

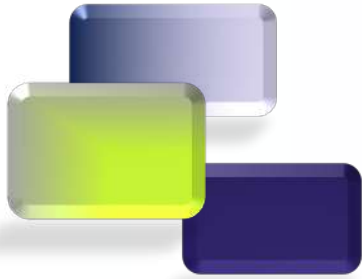
○子どもをゲームに合わせるのか、ゲームを子どもに合わせるのか

→既存のスポーツと教材の関係



授業実践報告

農学部 応用生命化学科
金野 尚武 (コンノ ナオタケ)



木材化学工学

専門選択科目

前期 金曜日 3-4時限

対象：応用生命化学科の3年生（30-40名）

講義の進め方

- ❖ スライドで講義
- ❖ 資料（スライド内容をまとめたもの）を配布『スライド穴埋め形式』
- ❖ 講義終了ごとにレポートを書いて提出
 - ・覚えてほしいこと：2問程度
 - ・成績評価の40%
- ❖ 期末テスト（主にレポートから出題、成績評価の60%）

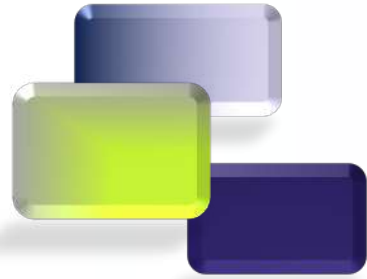
気をつけていること

これだけは覚えて！を伝える

- ❖ 講義の始めに『ポイント』『キーワード』を提示
- ❖ 講義の始まりに『前回の復習』
- ❖ 講義終了ごとにレポート

面白い！と思ってもらおう

- ❖ 自分が面白いと知っていることを紹介する
- ❖ 学生の興味に合わせる（親近感、雑談の工夫）
- ❖ 実物や動画を見せる



12. 木材成分と腐朽菌 (1)

ポイント

❖ セルロースの酵素分解

キーワード

CBH、EG、結晶性セルロース

応用生命化学科で木材化学？



応用生命化学科で木材化学？

食物繊維

食品

バイオマス

環境

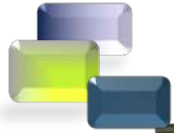
木材化学

微生物

きのこ

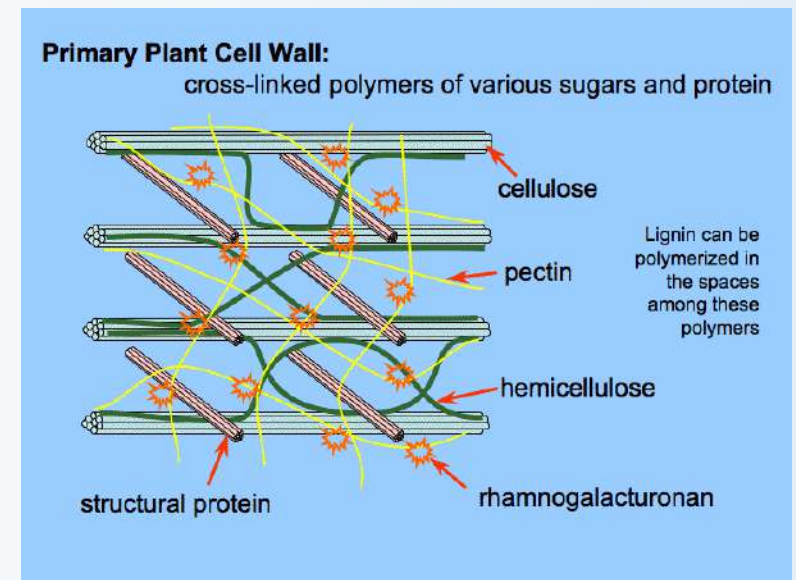
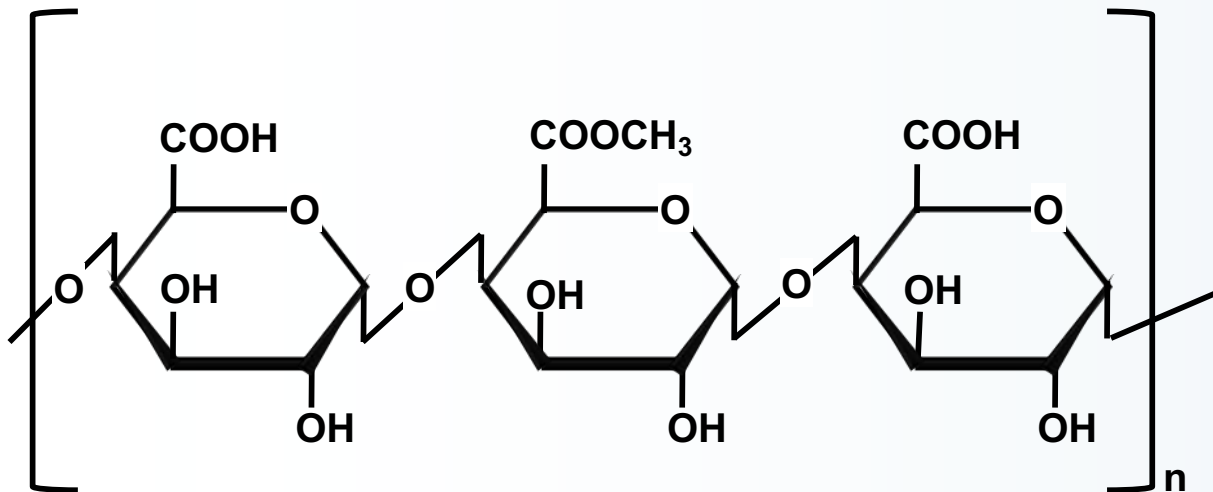
本講義の目的

- 生物資源（バイオマス）利活用の重要性を理解する
- 天然多糖類（糖質・食物繊維）の種類・分布・機能・応用例を学ぶ
- 木材の構造や成分、その性質について理解する
- きのこの生態、きのこによる木材分解を理解する

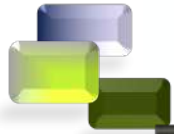


ペクチン

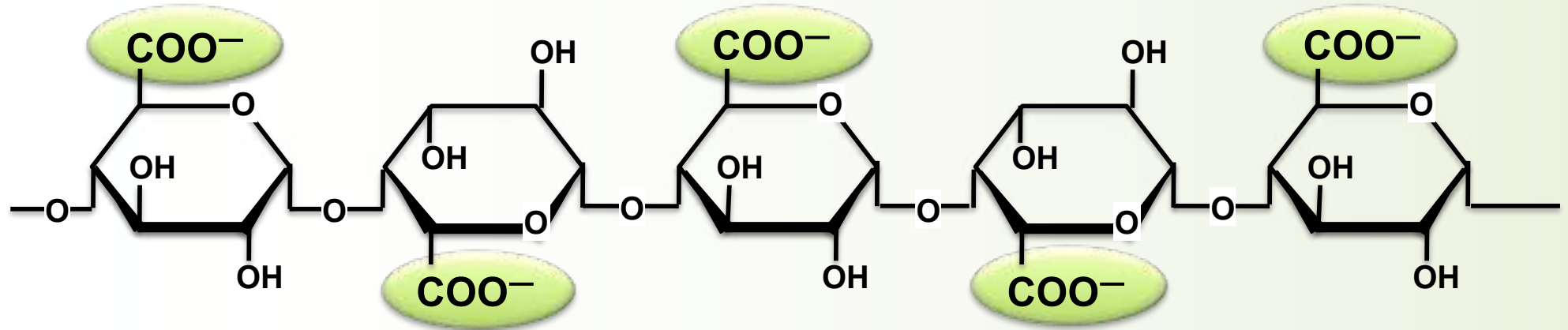
- ❖ ガラクツロン酸が α -1,4結合したポリガラクトuron酸が主成分
- ❖ 部分的にカルボキシル基がメチル化している、またはカルシウムイオンと結合している
- ❖ 植物の細胞間層に多く含まれる

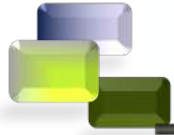


参考 : http://plantphys.info/plant_physiology/basiccytology1.shtml



ペクチンのゲル化機構

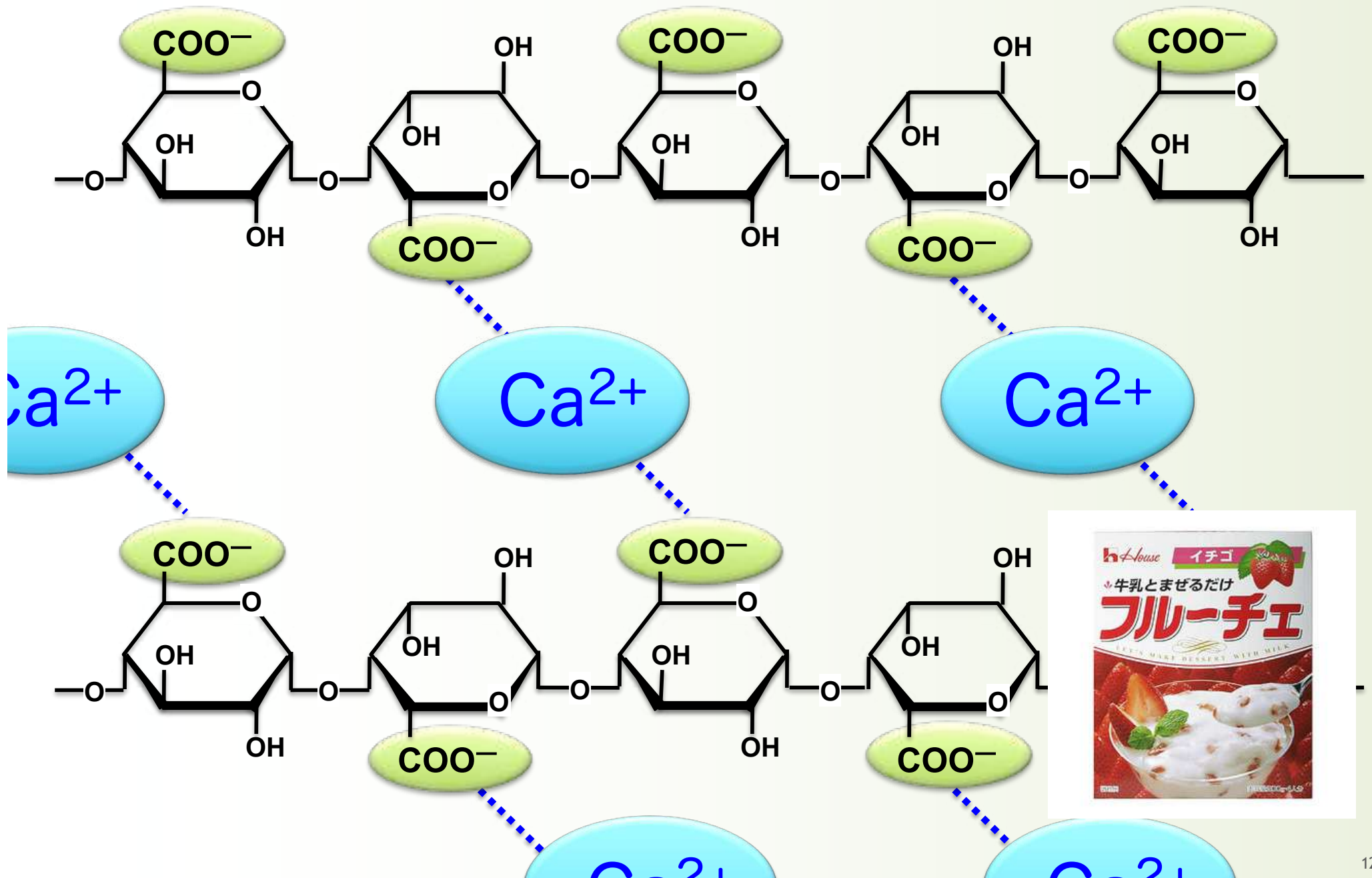


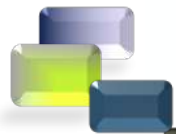


牛乳のカルシウムは「+」の電荷をもつ



ペクチンのゲル化機構





ろ過：動画参照

- ✓ 1 ろ紙
- ✓ 2 ブフナー漏斗
- ✓ 3 ゴム栓
- ✓ 4 吸引びん
- ✓ 5 アスピレーター

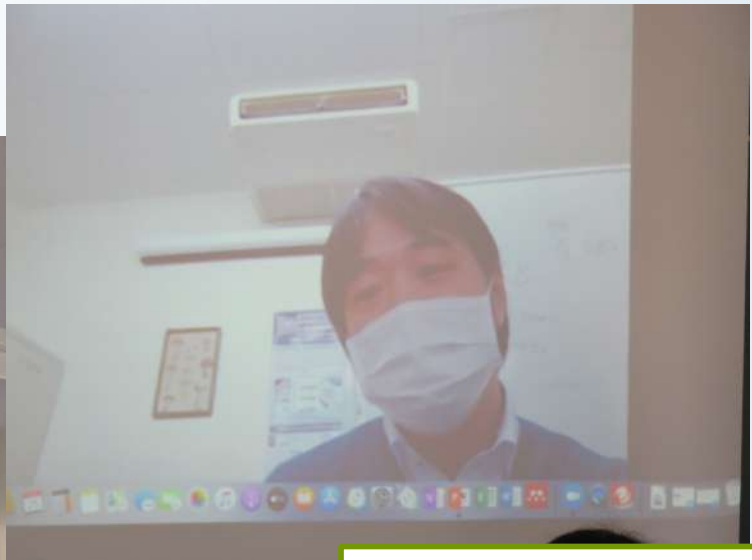


動画の作成 (Adobe Premiere Rush)





金野



水重



鈴木

これだけは覚えて！を伝える

- ❖ 講義の始めに『ポイント』『キーワード』を提示
- ❖ 講義の始まりに『前回の復習』
- ❖ 講義終了ごとにレポート

目的と興味を共有する

面白い！と思ってもらおう

- ❖ 自分が面白いと思っている学問を魅せる
- ❖ 学生の興味に合わせる（親近感、雑談の工夫）
- ❖ 実物や動画を見せる

ベストレクチャー賞 受賞者発表会
2021年1月5日（火）

基盤教育科目：国際化と人権

「グラフィックシラバス、ディベート、講義の出口への意識」



国際学部助教 藤井広重

fujiih@cc.utsunomiya-u.ac.jp

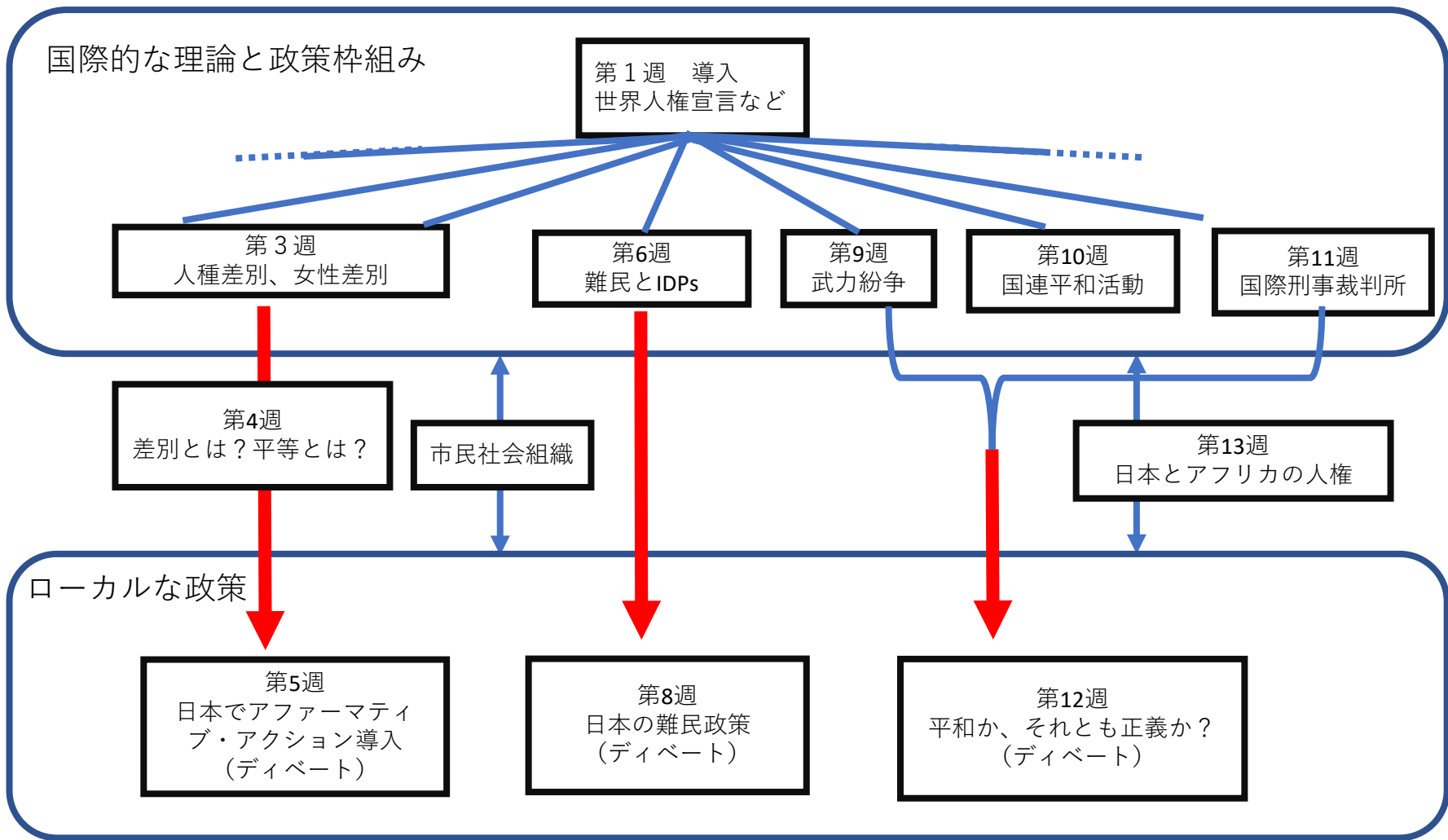


受賞の要因分析

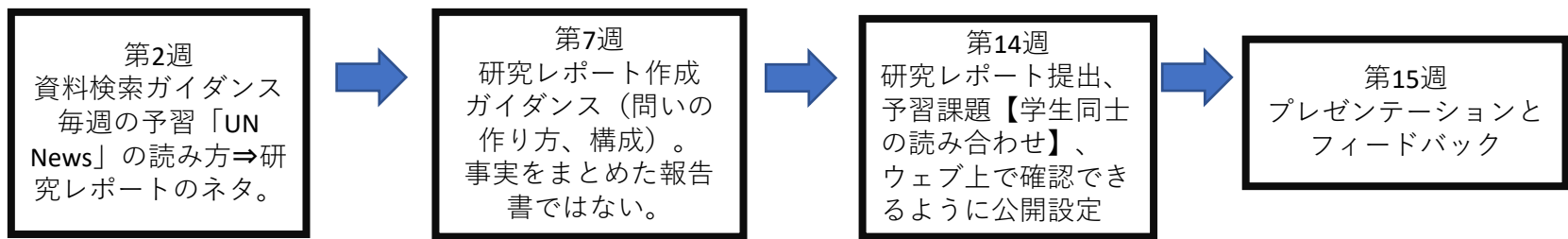


- 3年前の着任時から講義内容は特段変化していない。
- 授業評価が向上したのは、受講生に変化があったため？
→ 藤井の講義は、「重い」という噂。。。。
- しかし、人の命と向き合う学問である以上は、知識を提供するのではなく、「学生が現況について考えることに重点」をおいて、講義の内容にこだわりたい。
- 知を生み出す知、メタ知識。
⇒ 「かわいそう」といった感情の議論はしない。
手を差し伸べる側の責任についても考える。
- シラバスの説明を丁寧に行う。
⇒ 講義の意図と狙いをしっかりと伝える。
結果として受講を取りやめる学生も少なくない。

基盤教育：国際化と人権 グラフィックシラバス



課題



グラフィックシラバスの説明



- 本コースは、大きく2つの視座から人権問題を捉えことを目的とします。ひとつが、国際的な視座から理論と政策について学びます。もうひとつが、国内的（ローカル）な視座から、より私たちの身近で取り組まれている政策について学びます。そして、この双方に影響を与え、また結びつきを強めてきたアクターや、新たに生み出された概念を把握し、国際化している人権問題の全体像を捉えることができるよう構成しています。また、具体的な学びと並行し、レポートを執筆するためのガイダンスも段階的に取り入れています。

ディベート



- 1グループ3人1組、テーマに対して、
 - ① 賛成
 - ② 反対
 - ③ ジャッジ：両者をファシリテートしてより説得的であった意見を決める人。約束事として、必ずどちらがよかったのか決める。
- 1回につき15分。時間の使い方はジャッジに任せる。
- グループを変えて、立場は変えずに3回実施。
- 5分のインターバル
- 直前のディベートで得た情報を活用してもOK！講義中の携帯電話の利用もOK。

トピック



- 日本政府が今以上に難民を受け入れることに対して賛成？ 反対？

- アドバイス

様々な状況ごとに整理して建設的な議論を試みてみよう。

日本における難民認定の基準をどう捉えるのか。

日本に来る難民認定申請者をどう理解するのか。

日本は他の国と比べて特殊なのか？

ヨーロッパの現状をどう捉えるのか。

難民問題の処方箋をどう描くか。

なぜ、難民を負担（？）しなければならないのか？

フィードバックシート



問1 自己評価

	大変そう思う			全くそう思わない	
1-1 自分の意見を明確に伝えることができた	5	4	3	2	1
1-2 ディベートの流れがよかった	5	4	3	2	1
1-3 時間配分が適切だった	5	4	3	2	1
1-4 質疑応答が工夫できた	5	4	3	2	1
1-5 熱意を伝えることができた	5	4	3	2	1

問2 10段階で評価をお願いします。

大変よかった						全くよくなかった			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

問3 賛成派の主張で重要だと思った意見

問4 反対派の主張で重要だと思った意見

問5 ディベートを終えての感想

講義の出口を意識付けする 知識を使う



2019年グローバル・ガバナンス学会第12
回研究大会」において学生が学会奨励賞
(学部生の部門) を受賞



2020年グローバル・ガバナンス学会第13
回研究大会」において学生が学会奨励賞
(学部生の部門) を受賞

講義の出口を意識付けする 知識を実践する①



ICRC

赤十字国際委員会

INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

新着情報 ICRCとは 活動紹介 日本での活動 資料・写真 ICRCで働く

2019年度国際人道法ロールプレイ大会 国内予選 リポート

24/09/2019

赤十字国際委員会(ICRC)は、ジュネーブ条約70周年を記念して、日本で初となる国際人道法ロールプレイ大会国内予選を東京大学大学院「人間の安全保障プログラム」と2019年9月8日に実施しました。



参加チームは紛争下における架空の状況で多様な役割を演じる ©東京大学

会場は東京大学駒場キャンパスで、同志社大学、国際基督教大学、宇都宮大学、西南学院大学、東京大学から計8チームが参加。初の国内開催にもかかわらず、予想を上回る数の大学から参加を得て、盛大なイベントとなりました。

- 赤十字国際委員会主催国際人道法模擬裁判およびロールプレイ国内予選会への宇都宮大学チームおよび学生ボランティアスタッフの派遣。



国際人道法の知識を駆使し交渉する参加者たち ©東京大学

3人一組で構成されたチームは、武力紛争下におけるさまざまな架空の状況下で、人道支援団体や武装勢力など多様な役割を演じました。各シミュレーションでは、国際人道法の知識を駆使し、複数の関係者との議論、交渉を英語で展開。一般的な国際法の知識に加えて、あらゆる状況を克服するためのコミュニケーション力やチームワーク等も問われました。

激しい戦いを制し優勝したのは、東京大学チーム。準優勝は国際基督教大学チームでした。

講義の出口を意識付けする 知識を実践する②



国際人道法模擬裁判
2019年、2020年第11回 国際人道法
(IHL) 模擬裁判国内予選大会に出場



オランダ・ハーグ、国際刑事裁判所
にて赤根智子判事との面会

講義の出口を意識付けする 地域へ還元する



せかい たび
**世界を旅する
謎ときゲーム**
なぞ

日時：7月19日（金）
開場：午後4時～午後6時
場所：プレイルーム

せかい なぞ ちきゅう
世界の謎をといて、地球
いっしゅう たび で
一周の旅に出よう！
きひと すてき
来た人は素敵なプレゼント
がもらえるかも！？

うつのみやだいがくこくさいがくぶ ふじい
宇都宮大学国際学部 藤井ゼミ

宇～木



栃木県栃木市城東小学校サマーフェスティバルでの出展



栃木県宇都宮市内の子ども食堂での人権ワークショップの実施

ご清聴頂きありがとうございました



宇都宮大学
UTSUNOMIYA UNIVERSITY

